

(様式第10)

6京医大第747号

令和 6年 10月 2日

厚生労働大臣 殿

開設者名 京都府公立大学法人

理事長 金田 章裕

京都府立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465
氏名	京都府公立大学法人

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

京都府立医科大学附属病院

3 所在の場所

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465
電話(075) 251 - 5111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

○	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科				有			
内科と組み合わせた診療科名等							
○	1呼吸器内科	○	2消化器内科	○	3循環器内科	○	4腎臓内科
	5神経内科	○	6血液内科	○	7内分泌内科	○	8代謝内科
	9感染症内科	○	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科			○	11リウマチ科
診療実績							
「神経内科」の診療内容は脳神経内科で提供している。 「感染症内科」の診療内容は内科で提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科	○	4心臓外科
○	5血管外科	○	6心臓血管外科	○	7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科		3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	移植外科	2	小児心臓血管外科	3	形成外科	4	リハビリテーション科	5	病理診断科
6	脳神経内科	7	内分泌・糖尿病・代謝内科	8	内分泌・乳腺外科	9	精神科・心療内科	10	救急医療科
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
118		54		893	1065

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	255	299	535.7
歯科医師	5	22	26.7
薬剤師	61	5	64.6
保健師	0	0	0
助産師	28	0	28
看護師	786	70	837.9
准看護師	0	1	0.2
歯科衛生士	9	0	9
管理栄養士	11	6	16

職種	員数
看護補助者	81
理学療法士	18
作業療法士	7
視能訓練士	10
義肢装具士	0
臨床工学士	23
栄養士	5
歯科技工士	2
診療放射線技師	59

職種		員数
診療エックス線技師		0
臨床検査	臨床検査技師	73
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師		0
医療社会事業従事者		3
その他の技術員		22
事務職員		235
その他の職員		13

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	69	眼科専門医	16
外科専門医	56	耳鼻咽喉科専門医	12
精神科専門医	12	放射線科専門医	31
小児科専門医	33	脳神経外科専門医	10
皮膚科専門医	8	整形外科専門医	25
泌尿器科専門医	13	麻酔科専門医	30
産婦人科専門医	20	救急科専門医	12
		合計	347

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (佐和 貞治) 任命年月日 令和 5 年 4 月 1 日

平成27年4月1日～令和5年3月31日まで医療安全推進部長(令和3年3月31日までは医療安全管理部長)を務める。
平成28年9月30日～令和3年3月31日まで医療安全管理責任者を務める。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	453.1 人	2.4 人	455.5 人
1日当たり平均外来患者数	1,734.70 人	170.1 人	1904.8 人
1日当たり平均調剤数	1,126		剤
必要医師数	144		人
必要歯科医師数	10		人

必要薬剤師数	16	人
必要(准)看護師数	292	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	436.8 m ²	骨鉄筋コンクリー	病床数	20 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	181.7	m ²	病床数	9 床
	[移動式の場合]	台数	9	台		
医薬品情報 管理室	[専用室の場合]	床面積	37 m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	211 m ²	鉄骨鉄筋コンク リート	(主な設備)	生化学自動分析装置、免疫自動分析装置、検体前処理装置、全自動グリコヘモグロビン測定装置、血糖検査機器、多項目自動血球分析装置、凝固検査機器、全自動細胞解析装置		
細菌検査室	216.29 m ²	鉄骨鉄筋コンク リート	(主な設備)	安全キャビネット、全自動血液培養検査装置、細菌同定検査装置、薬剤感受性検査装置、抗酸菌遺伝子検査装置、抗酸菌液体培養検査装置		
病理検査室	260.23 m ²	鉄骨鉄筋コンク リート	(主な設備)	安全キャビネット、ホルマリン対策局所廃棄装置、写真撮影装置、脱脂脱水包埋装置、自動染色機、クライオスタット、硬組織用切断機、自動封入機、顕微鏡システム、画像データベース、バーチャルスライドシステム		
病理解剖室	75 m ²	鉄骨鉄筋コンク リート	(主な設備)	L地形ステンレス解剖台、写真撮影装置、ディープフリーザー、消毒装置、マクロ標本棚、体液吸引装置、脱脂脱水包埋装置		
研究室	3792 m ²	鉄骨鉄筋コンク リート	(主な設備)	核磁気共鳴装置、スペクトロメーター、画像解析装置、遠心器、ミクロトーム、光度計、血液分析装置		
講義室	616 m ²	鉄骨鉄筋コンク リート	室数	4 室	収容定員	420 人
図書室	1080 m ²	鉄骨鉄筋コンク リート	室数	27 室	蔵書数	14,000 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率		80.1	%	逆紹介率		100.1	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数					15,105	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数					21,082	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数					1,766	人
	D: 初診の患者の数					21,062	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
松村 由美	京都大学医学部 附属病院	○	特定機能病院の医療安全管理体制に精通している。	無	1
平野 哲郎	立命館大学法科大学院 法務研究科		法律研究者として関係の法律に精通している。	無	1
清水 智治	滋賀医科大学医学部 附属病院		医療安全管理に関する専門的知識を有している。	無	1
秋篠 憲一			本院の患者として医療を受ける者の代表	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
京都府公立大学法人のホームページに掲載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	0人
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	13人
陽子線治療	5人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
先進医療の種類の合計数	3
扱い患者数の合計(人)	21人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
自家骨髄単核球移植による下肢血管再生治療 バージャー病(従来の治療法に抵抗性を有するものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。)	0人
アスピリン経口投与療法 家族性大腸腺腫症	4人
自家骨髄単核球細胞移植による血管再生療法 全身性強皮症(難治性皮膚潰瘍を伴うものに限る)	0人
シスプラチン静脈内投与及び強度変調陽子線治療の併用療法 頭頸部扁平上皮がん(喉頭がん、中咽頭がん又は下咽頭がんであって、ステージがⅡ期(p16陽性中咽頭がんに限る。)、Ⅲ期又はⅣ期のものに限る。)	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
先進医療の種類の合計数	4
取扱い患者数の合計(人)	8人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	該当なし	取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類の合計数	0
取扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	2	56	ベーチェット病	72
2	筋萎縮性側索硬化症	25	57	特発性拡張型心筋症	40
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	6
4	原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	1
5	進行性核上性麻痺	12	60	再生不良性貧血	21
6	パーキンソン病	115	61	自己免疫性溶血性貧血	2
7	大脳皮質基底核変性症	6	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	4
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	30
9	神経有棘赤血球症	1	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トウス病	7	65	原発性免疫不全症候群	8
11	重症筋無力症	87	66	IgA 腎症	90
12	先天性筋無力症候群	2	67	多発性嚢胞腎	37
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	82	68	黄色靱帯骨化症	16
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	26	69	後縦靱帯骨化症	56
15	封入体筋炎	4	70	広範脊柱管狭窄症	17
16	クドウ・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	61
17	多系統萎縮症	5	72	下垂体性ADH分泌異常症	6
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	42	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	7	74	下垂体性PRL分泌亢進症	3
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	1
21	ミトコンドリア病	10	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	6	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	12
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	52
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	4	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	13
27	特発性基底核石灰化症	1	82	先天性副腎低形成症	1
28	全身性アミロイドーシス	62	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	57
30	遠位型ミオパチー	1	85	特発性間質性肺炎	14
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	20
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	42
34	神経線維腫症	27	89	リンパ脈管筋腫症	2
35	天疱瘡	9	90	網膜色素変性症	10
36	表皮水疱症	3	91	バッド・キアリ症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	11	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	27	93	原発性胆汁性肝硬変	35
39	中毒性表皮壊死症	10	94	原発性硬化性胆管炎	6
40	高安動脈炎	17	95	自己免疫性肝炎	14
41	巨細胞性動脈炎	16	96	クローン病	144
42	結節性多発動脈炎	14	97	潰瘍性大腸炎	300
43	顕微鏡的多発血管炎	41	98	好酸球性消化管疾患	3
44	多発血管炎性肉芽腫症	21	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	30	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	19	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャール病	15	102	ルビンシュタイン・ティビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	5	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	257	104	コストロ症候群	1
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	114	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	89	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	36	107	全身型若年性特発性関節炎	28
53	シェーグレン症候群	37	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人発症スチル病	17	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	5	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
111	先天性ミオパチー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	22
113	筋ジストロフィー	8	163	特発性後天性全身性無汗症	9
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群／ロイス・ディーツ症候群	5
118	脊髄髄膜瘤	2	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	2	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	脳内鉄沈着神経変性症	0	171	ウィルソン病	4
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	HTRA1関連脳小血管病	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	9	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー病	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	3	177	有馬症候群	1
128	ピックースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	1
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	1	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	1	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	1
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	1
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	1
144	レノックス・ガストー症候群	1	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	1	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	1
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	1	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	8	208	修正大血管転位症	2
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	2
160	先天性魚鱗癬	1	210	単心室症	2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
211	左心低形成症候群	1	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	2	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	4	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	4	263	脳腱黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	2	264	無 β リボタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	3	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	57	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎	23
224	紫斑病性腎炎	7	272	進行性骨化性線維異形成症	1
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	骨形成不全症	1
227	オスラー病	3	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	1
231	α 1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	3
232	カーニー複合	1	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	2
240	フェニルケトン尿症	1	288	自己免疫性出血病XIII 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	4
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	1
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスporter-1欠損症	2	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	1
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性腭炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	14
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	2
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	2	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	31

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
307	カナバン病	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
308	進行性白質脳症	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
309	進行性ミオクロームスでんかん	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310	先天異常症候群	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	1	326	大理石骨病	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	1
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	328	前眼部形成異常	1
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)／LMX1B関連腎症	0	329	無虹彩症	7
316	カルニチン回路異常症	0	330	先天性気管狭窄症	1
317	三頭酵素欠損症	0	331	特発性多中心性キャスルマン病	6
318	シトリン欠損症	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
			335	ネフロン癆	0
			336	家族性低 β リポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
			337	ホモシステニン尿症	0
			338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0
			339	MECP2重複症候群	0
			340	綿毛機能不全症候群(カルタゲナー症候群を含む)	0
			341	TRPV4異常症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	150
合計患者数(人)	2849

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・患者サポート体制充実加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・報告書管理体制加算
・歯科診療特別対応連携加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・特定機能病院入院基本料(結核)7対1	・ハイリスク妊娠管理加算
・特定機能病院入院基本料(一般)7対1	・ハイリスク分娩管理加算
・救急医療管理加算	・術後疼痛管理チーム加算
・超急性期脳卒中加算	・後発医薬品使用体制加算1
・診療録管理体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算1
・医師事務作業補助体制加算1 15対1	・病棟薬剤業務実施加算2
・急性期看護補助体制加算(25対1 看護補助者5割以上、夜間100対1)	・データ提出加算2
・看護職員夜間配置加算 看護職員夜間12対1配置加算1	・入退院支援加算1
・看護配置加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・看護補助加算1	・精神疾患診療体制加算
・療養環境加算	・精神科急性期医師配置加算2のロ
・重症者等療養環境特別加算	・地域医療体制確保加算
・無菌治療室管理加算1	・特定集中治療室管理料2
・無菌治療室管理加算2	・特定集中治療室管理料の注5に規定する早期栄養介入管理加算(ICU)
・放射線治療病室管理加算(治療用放射線同位元素による場合)	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・放射線治療病室管理加算(密封小線源による場合)	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・緩和ケア診療加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・精神科応急入院施設管理加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・精神科身体合併症管理加算	・小児入院医療管理料2
・摂食障害入院医療管理加算	・緩和ケア病棟入院料1
・栄養サポートチーム加算	・精神科急性期治療病棟入院料1
・医療安全対策加算1	・看護職員処遇改善評価料82
・感染対策向上加算1	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算
・外来栄養食事指導料の注3	・がん治療連携計画策定料
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・ハイリスク妊産婦連携指導料1
・糖尿病合併症管理料	・ハイリスク妊産婦連携指導料2
・がん性疼痛緩和指導管理料	・こころの連携指導料(Ⅱ)
・がん患者指導管理料イ	・薬剤管理指導料
・がん患者指導管理料ロ	・医療機器安全管理料1
・がん患者指導管理料ハ	・医療機器安全管理料2
・がん患者指導管理料ニ	・精神科退院時共同指導料1及び2
・外来緩和ケア管理料	・歯科疾患管理料の注10に掲げる総合医療管理加算 歯科治療時医療管理料
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・糖尿病透析予防指導管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・小児運動器疾患指導管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・婦人科特定疾患治療管理料	・遺伝学的検査の注1
・腎代替療法指導管理料	・染色体検査(流産検体を用いた絨毛染色体検査を行った場合)
・一般不妊治療管理料	・骨髓微小残存病変量測定
・生殖補助医療管理料1	・BRCA1/2遺伝子検査(腫瘍細胞、血液)
・下肢創傷処置管理料	・がんゲノムプロファイリング検査
・院内トリアージ実施料	・角膜ジストロフィー遺伝子検査
・夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算1	・先天性代謝異常症検査
・外来放射線照射診療料	・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体
・外来腫瘍化学療法診療料1	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・外来腫瘍化学療法診療料_連携充実加算	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・ニコチン依存症管理料	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・処方料の注6に掲げる抗悪性腫瘍剤処方管理加算 処方箋料の注5に掲げる抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・国際標準検査管理加算	・外来化学療法加算1
・遺伝カウンセリング加算	・無菌製剤処理料
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・胎児心エコー法	・がん患者リハビリテーション料
・ヘッドアップティルト試験	・リンパ浮腫複合的治療料
・長期継続頭蓋内脳波検査	・歯科口腔リハビリテーション料2
・単線維筋電図	・経頭蓋磁気刺激療法
・脳波検査判断料1	・通院・在院精神療法の注8に掲げる療養生活継続支援加算
・神経学的検査	・認知療法・認知行動療法1
・補聴器適合検査	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・黄斑局所網膜電図	・医療保護入院等診療料
・全視野精密網膜電図	・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
・ロービジョン検査判断料	・多血小板血漿処置
・コンタクトレンズ検査料1	・硬膜外自家血注入
・小児食物アレルギー負荷検査	・エタノールの局所注入(甲状腺)
・内服・点滴誘発試験	・人工腎臓1
・前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	・導入期加算3及び腎代替療法実績加算
・経気管支凍結生検法	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査	・下肢末梢動脈疾患指導管理加算
・精密触覚機能検査	・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
・画像診断管理加算1	・手術用顕微鏡加
・遠隔画像診断	・口腔粘膜処置
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・う蝕歯無痛の窩洞形成加算
・CT撮影(16列以上64列未満のマルチスライス型の機器による場合) MRI撮影(1.5テスラ以上3テスラ未満の機器による場合)	・CAD/CAM冠
・冠動脈CT撮影加算	・歯科技工加算1及び2
・心臓MRI撮影加算	・センチネルリンパ節加算
・自家脂肪注入	・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・後縦靱帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・椎間板内酵素注入療法	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・角結膜悪性腫瘍切除手術	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等
・角膜移植術(内皮移植加算)	・胸腔鏡下弁形成術
・羊膜移植術	・胸腔鏡下弁置換術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・経カテーテル大動脈弁置換術
・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・経カテーテル弁置換術(経皮的肺動脈弁置換術)
・緑内障手術(濾過胞再建術(needle 法))	・経皮的僧帽弁クリップ術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
・網膜再建術	・経皮的中隔心筋焼灼術
・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・人工中耳植込術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)	・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・補助人工心臓	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・経皮的下肢動脈形成術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・腹腔鏡下リンパ節群廓清術(後腹膜)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	・腹腔鏡下仙骨腫固定術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	・腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下膣式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内視鏡的逆流防止粘膜切除術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・体外式膜型人工肺管理料
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・輸血管理料Ⅰ
・体外衝撃波胆石破碎術	・輸血適正使用加算
・腹腔鏡下肝切除術	・コーディネート体制充実加算
・体外衝撃波膵石破碎術	・自己クリオプレシペート作製術(用手法)
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・同種クリオプレシペート作製術
・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・歯周組織再生誘導手術
・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・手術時歯根面レーザー応用加算
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・歯根端切除手術の注3
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・レーザー機器加算
・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・麻酔管理料(Ⅰ)
・同種死体腎移植術	・麻酔管理料(Ⅱ)
・生体腎移植術	・放射線治療専任加算
・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)	・外来放射線治療加算

[illegible]

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	200回	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	22例(院内13例)
	剖検率(%)	5.3%(院内)

)1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(○で囲む等)こ
(注)2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
腫瘍由来miRNAに着目した胃癌腹膜播種におけるサルコペニアの分子機構解明	岩井 直人	消化器内科	2,210,000	補○ 委 文部科学省
抗腫瘍免疫におけるNK細胞と好中球細胞外トラップの相互作用に関する検討	土井 俊文	消化器内科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
十二指腸粘膜関連細菌叢のDysbiosisから十二指腸癌発癌への機序・経路の解明	土肥 統	消化器内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
高ずり応力状態下での消化管粘膜血管異形成の実態とその発症メカニズムの解明	井上 健	消化器内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
肝オルガノイドを用いた熱ショック蛋白Apg-2の肝脂肪化、肝発がん機序の解明	山口 寛二	消化器内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
ヒトNAFLDにおけるApg-2:臨床データとの相関と疾病スクリーニング法の樹立	伊藤 義人	消化器内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
腸管恒常性維持機構に着目した食物アレルギー発症メカニズムの解明	春里 暁人	消化器内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
脂肪炎動物モデルの構築と、脂肪炎の病態・脂肪腫における腫瘍発癌機序の解明	三宅 隼人	消化器内科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
PNPLA3とHSD17B13遺伝子のNAFLD病態における意義と機能解析	瀬古 裕也	消化器内科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
環状ジヌクレオチドの免疫賦活作用による新規腸管炎症治療戦略	尾松 達司	消化器内科	780,000	補○ 委 文部科学省
慢性肝疾患における門脈圧の流体力学的シミュレーション	石破 博	消化器内科	390,000	補○ 委 文部科学省
Gut muscle axisを標的としたがんサルコペニア新規集学的治療の開発	石川 剛	消化器内科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
十二指腸に定着した口腔内Streptococcusを標的とした機能性ディスペプシア治療薬開発	福居 顕文	消化器内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
粘膜関連細菌叢と粘膜バリアを標的とした生活習慣病の新規治療法の開発	堅田 和弘	消化器内科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
接触飛沫空気感染制御を目指した病原体の生存しにくい環境の創出と製品適用技術	廣瀬 亮平	消化器内科	6,000,000	補○ 委 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
線維化セクレトームの転写制御ネットワーク解明と心不全治療応用	星野 温	循環器内科	5,850,000	補○ 委	文部科学省
急性冠症候群患者の非責任病変における至適マネジメントの追求	若菜 紀之	循環器内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
心筋必須遺伝子群を標的とした心不全病態解明と治療標的探索 「高性能コールドスネアポリペクトミー専用スネアの開発研究」	木谷 友哉	循環器内科	2,730,000	補○ 委	文部科学省
成人先天性心疾患患者の移行期医療の課題抽出と受診検査の最適化モデル開発	中西 直彦	循環器内科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
高精度ゲノム編集が可能にする疾患保護編集によるアルツハイマー病予防	日野 智博	循環器内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
FRETシステムを用いた多検体解析系の構築とウイルス重合タンパク質阻害剤の探索	上 大介	循環器内科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
血管内皮細胞老化の分子基盤の解明と新規老化関連疾患予防・治療法開発への応用	池田 宏二	循環器内科	4,550,000	補○ 委	文部科学省
血液幹細胞におけるミトコンドリアDNA置換によるミトコンドリア病治療の開発	五條 理志	循環器内科	5,460,000	補○ 委	文部科学省
包括的高度慢性下肢虚血に対し、筋組織酸素飽和度 (StO ₂) をモニタリングする近赤外線分光装置 (NIRS) を使用した至適運動療法を確立する研究	的場 聖明	循環器内科	24,999,000	補 委○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
COVID-19に対する吸入ACE2デコイ製剤の開発	星野 温	循環器内科	175,500,000	補 委○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
生活習慣の是正プログラムを個人に適した形で提示するAIチャットボットのアルゴリズム開発	妹尾 恵太郎	循環器内科	1,300,000	補○ 委	京都市
RETがんにおける初期治療抵抗性のメカニズム解明と克服治療法の開発	谷村 恵子	呼吸器内科	2,340,000	補○ 委	文部科学省
肺がん分子標的治療の薬剤抵抗性に関わる新規コンパニオン診断法の開発	吉村 彰紘	呼吸器内科	2,210,000	補○ 委	文部科学省
新たな視点で肺がん患者の療養実態に迫り、医療の課題を解明する研究	岩破 将博	呼吸器内科	2,210,000	補○ 委	文部科学省
分子標的薬の初期抵抗性に関わるキナーゼシグナル伝達の解明とその克服治療法開発	森本健司	呼吸器内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肺がん低酸素環境適応機構に起因した治療抵抗性の解明と新規標的治療法開発	山田 忠明	呼吸器内科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
新型タバコによる気管支上皮のステムセルエイジングを標的とした革新的治療法の開発	田宮 暢代	呼吸器内科	910,000	補○ 委 文部科学省
1型糖尿病での自己膵島反応性T細胞の質的異常の解明	北川 功幸	内分泌・糖尿病・代謝内科	3,770,000	補○ 委 文部科学省
フレイル対策のためのRNA干渉による骨格筋機能回復の検討	岡田 博史	内分泌・糖尿病・代謝内科	2,990,000	補○ 委 文部科学省
ラマン分光法を用いた心アミロイドーシスの病型鑑別法の開発	佐川 友哉	内分泌・糖尿病・代謝内科	2,730,000	補○ 委 文部科学省
水溶性食物繊維由来の腸内代謝産物が有する腸管上皮幹細胞の機能制御の解明	中西 尚子	内分泌・糖尿病・代謝内科	2,600,000	補○ 委 文部科学省
中鎖脂肪酸によるフレイル予防とエピジェネティック制御の解明	福井 道明	内分泌・糖尿病・代謝内科	2,600,000	補○ 委 文部科学省
腸内環境・糖尿病に注目したマイクロプラスチックの組成・粒径と健康影響の解明	濱口 真英	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
Epigenetic changes in the small intestine by Western diet	岡村 拓郎	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
水溶性食物繊維が腸内代謝産物を介して糖脂質代謝に与える影響の検討	中島 華子	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
自己反応性T細胞を標的とした劇症1型糖尿病の進展予防法の解明	北川 暢子	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
単一細胞解析を用いたバセドウ病における自己反応性T細胞の解明	橋本 善隆	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
飽和脂肪酸による骨格筋代謝障害・シグナル伝達障害発症機序の解明	千丸 貴史	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
バセドウ病での甲状腺浸潤自己反応性T細胞の空間トランスクリプトーム解析	畑 真之介	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
糖尿病患者に対するウェルビーイングを目標とした継続性のある運動プログラム開発	大坂 貴史	内分泌・糖尿病・代謝内科	260,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
塩分過剰摂取による飽和脂肪酸の吸収亢進を介した動脈硬化進展機構の解明	牛込恵美 (白石恵美)	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
人工知能によるインスリン在宅自己注射治療の患者支援システムの研究開発	濱口 真英	内分泌・糖尿病・代謝内科	2,750,000	補 委○ 国立研究開発法人科学技術振興機構
全ての成熟リンパ系腫瘍の制御に向けたRSK2/AKT/S6K同時標的治療薬の開発	黒田 純也	血液内科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
造血器腫瘍におけるMDSCを標的としたmiRNAインヒビターカクテル療法の開発	志村 勇司	血液内科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
Galectin-9を介したマントル細胞リンパ腫のBCRシグナル活性化機序の解明	塚本 拓	血液内科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
成熟B細胞性腫瘍における病態促進性インターフェロン刺激遺伝子の同定と制御戦略開発	水谷 信介	血液内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
スフィンゴシン-1-リン酸シグナリングを用いたANCA関連血管炎の新たな治療開発	妹尾 高宏	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
ANCA関連血管炎の疾患レジストリ構築による個別化医療の推進	木田 節	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
iPS細胞由来免疫寛容性樹状細胞を用いた自己免疫疾患に対する新規細胞療法の開発	藤岡 数記	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
進行性線維化を伴う膠原病関連間質性肺疾患における肺胞マクロファージの役割の解明	藤井 渉	膠原病・リウマチ・アレルギー科	780,000	補○ 委 文部科学省
Radiomics解析による大脳白質病変の病因診断、臨床転帰予測	尾原 知行	脳神経内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
脳小血管病関連遺伝子に着目した一般集団における大脳白質病変の解析	水田 依久子	脳神経内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
解糖系酵素(PGK)活性促進による新規パーキンソン病治療戦略	笠井 高士	脳神経内科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
ダウン症候群における認知症の早期発見のためのプレホスピタルツールの開発	篠本 真紀子	脳神経内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
ブルトン型チロシンキナーゼは重症筋無力症の新規治療標的となりうるか？	小島 雄太	脳神経内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
筋萎縮性側索硬化症ハエモデルを用いた大腸菌由来アミロイドによる腸脳関連障害の解析	森井 芙貴子	脳神経内科	2,340,000	補○ 委 文部科学省
ロメリジン塩酸塩によるCADASIL患者に対する脳虚血イベント再発抑制	尾原 知行	脳神経内科	32,500,000	補 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
癌関連線維芽細胞に発現するイオン輸送体を標的とした新規治療法の開発	清水 浩紀	消化器外科	2,210,000	補○ 委 文部科学省
extracellular vesiclesを利用した消化器癌腹膜播種に対する新たな治療法の開発	有田 智洋	消化器外科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
サルコペニア併存消化器癌の血中microRNAによる腫瘍進展メカニズムの解明	木内 純	消化器外科	1,820,000	補○ 委 京都市
食道癌における分泌型miRNAによる新規抗腫瘍免疫応答の抑制機構の解明と臨床応用	小松 周平	消化器外科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
リキッドバイオプシーを用いた膵癌コンパニオンマーカーの開発と個別化治療への応用	今村 泰輔	消化器外科	1,668,727	補○ 委 文部科学省
膵癌幹細胞に発現する電位依存性カリウムチャネルを標的とした新規治療法の開発	原田 恭一	消化器外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
胃癌におけるSLCO2A1発現に基づく新たな腹腔内低浸透圧化学療法の開発	小菅 敏幸	消化器外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
容積活性化陰イオンチャネルを標的とした大腸癌播種性転移に対する低浸透圧療法の開発	内藤 慶	消化器外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
血中枯渴癌抑制型microRNA投与による食道癌の次世代型抗がん核酸治療法の開発	藤原 斉	消化器外科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
消化器癌における新規癌関連遺伝子SETDB1の癌化機構の解明と臨床応用	大橋 拓馬	消化器外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
ミトコンドリア内Ca2ダイナミクスに注目した大腸癌幹細胞機能解析と標的治療の開発	工藤 道弘	消化器外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
食道胃接合部癌・食道腺癌幹細胞に発現するイオン輸送体を標的とした新規治療法の開発	塩崎 敦	消化器外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
組織工学代用血管を用いた小児心疾患への肺動脈拡大術の臨床応用推進及び多角的展開	山南 将志	心臓血管外科	14,300,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
生体内組織工学による結合組織代用血管他家移植に必要な短時間脱細胞処理技術の開発	権代 竜郎	心臓血管外科	3,500,000	補○ 委	文部科学省
患者体内で作成する自家結合組織シートの小児心臓弁形成術への応用と専用埋入体の開発	藤田 周平	心臓血管外科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
原発性肺癌におけるSpreadThroughAirSpaceの分子病態解明	井上 匡美	呼吸器外科	2,860,000	補○ 委	文部科学省
多重免疫染色による悪性胸腺上皮性腫瘍の新規biomarkerの探索	石原 駿太	呼吸器外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
初代培養スフェロイドを用いた大腸癌肺転移気腔内伸展の病態解明	下村 雅律	呼吸器外科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
がん微小環境に着眼した肺癌に対する栄養療法の抗腫瘍効果の解明	岡田 悟	呼吸器外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
WHO分類を考慮した胸腺腫に対する免疫療法の確立	古谷 竜男	呼吸器外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
質量分析イメージングを基軸とした乳がん組織の不均一性と薬剤感受性の解明	加藤 千翔	内分泌・乳腺外科	910,000	補○ 委	文部科学省
光線力学診断による乳癌蛍光細胞診断技術の開発	森田 翠	内分泌・乳腺外科	780,000	補○ 委	文部科学省
横隔膜ヘルニアに対するダイレクトリプログラミング骨格筋細胞シートの開発	高山 勝平	小児外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
骨肉腫肺転移に対するGD2-MSCsによる新規細胞免疫治療開発	文野 誠久	小児外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
MAPKおよびHippo経路阻害薬併用による神経芽腫薬剤耐性の克服と後療法治療モデル開発	竹本 正和	小児外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
神経芽腫骨髄転移に対するGD2-MSCsによる新規細胞免疫治療	井口 雅史	小児外科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
視覚芸術(漫画)を用いた医療イノベーション戦略研究	荻田 庄吾	脳神経外科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
オプトジェネティクス導入神経幹細胞を用いた各前駆細胞の系統別再生機能評価	梅林 大督	脳神経外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
Hedgehog経路の転写因子GLI2を標的とした膠芽腫新規治療法の開発	谷川 成佑	脳神経外科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
膠芽腫微小環境を含めたオートファジー機構の解析による新たな治療法の開発	武内 勇人	脳神経外科	649,981	補○ 委 文部科学省
負荷強度に応じた椎間板のメカノバイオロジー変容機構の解明	外村 仁	整形外科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
新規photothermalDDSを用いた次世代OA温熱療法の開発	高橋 謙治	整形外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
磁場測定と深層学習を用いたiPS細胞由来心筋細胞の電気生理学的評価	吉田 隆司	整形外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
TSPAN12の骨肉腫細胞に対する影響	寺内 竜	整形外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
特発性大腿骨頭壊死症における大腿骨頭圧潰予防法の確立	林 成樹	整形外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
体内時計に着目した温熱療法による軟骨代謝制御機構の解明	大久保 直輝	整形外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
磁気共鳴画像法を用いた普遍的筋質画像診断法の開発と有用性の検討	祐成 毅	整形外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
direct re-programingを用いた軟骨肉腫の新規治療法の開拓	下村 征史	整形外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
ヒト脂肪組織由来幹細胞と多血小板血漿を併用した新たな末梢神経再生法の開発	小田 良	整形外科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
血液検査による早期ロコモの推測システムの構築～健康寿命の延伸を目指して～	後藤 毅	整形外科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
新たな電気刺激法による骨格筋線維化予防一効果的な2次性サルコペニア治療法の開発一	遠山 将吾	整形外科	910,000	補○ 委 文部科学省
骨折予防によるADL改善を目指して一UTEを用いた骨質評価法の確立一	生駒 和也	整形外科	780,000	補○ 委 文部科学省
生体内自己溶解性金属インプラントの開発	岡 佳伸	整形外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
骨肉腫に対するCD81抗体療法の開発ーエクソソームに着目した転移抑制ー	白井 寿治	整形外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
変形性関節症に対する新たな運動療法の確立ー低酸素によるHIF-1 α 制御を用いてー	新井 祐志	整形外科	5,850,000	補○ 委 文部科学省
関節リウマチのサルコペニアに対する分子生物学的手法を利用した低負荷運動療法の開発	中川周士	整形外科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
ゲノム情報とプロゲステロン応答能を指標とした子宮内膜症個別化治療の開発	垂水 洋輔	産婦人科	2,340,000	補○ 委 文部科学省
子宮体癌におけるゲノム情報に基づいた新規内分泌治療法の開発	寄木 香織	産婦人科	2,210,000	補○ 委 文部科学省
Molecular detection of intrauterine microbial colonization in women with adenomyosis and occurrence of chronic endometritis	カーンカレク	産婦人科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
月経周期における性ホルモン変動が子宮内膜症患者の免疫・炎症にもたらす影響	田中 佑輝子	産婦人科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
子宮体癌におけるエストロゲン関連受容体による治療抵抗性機構解明と新規治療法提唱	古株 哲也	産婦人科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
パーソナルヘルスケアレコードを用いた子宮内膜症患者の管理と新たな疫学研究の試み	小芝 明美	産婦人科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
ヘプシジンとPGC-1 α のクロストークに基づく子宮内膜症治療の分子基盤の確立	片岡 恒	産婦人科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
ER β をターゲットとした新たな子宮内膜症治療薬の分子基盤の確立	高岡 幸	産婦人科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
エストロゲン伝達経路を標的とした子宮体癌新規診断・治療・予防アプローチの提唱	森 泰輔	産婦人科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
子宮内膜症患者の体脂肪・骨格筋分布と酸化ストレスおよびインスリン抵抗性との関連	前田 英子	産婦人科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
動脈硬化リスクを軽減しうる安全なホルモン補充療法の分子基盤確立	伊藤 文武	産婦人科	910,000	補○ 委 文部科学省
小児肥満と脂質メディエーターの関連性に関する調査研究	杉本 哲	小児科	1,950,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
エリスロポエチンによる褐色脂肪細胞の活性化機構の解明を介した新規肥満治療の探索	宮垣 知史	小児科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
CAR-T細胞の免疫疲弊を回避できる分子標的薬併用療法の開発	富田 晃正	小児科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
FUS-ERG陽性の難治性小児急性骨髄性白血病の病態解明とマウスモデル作成	眞弓 あずさ	小児科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
腫瘍近傍体液Exosome内microRNAによるラブドイド腫瘍の体液診断の開発	勝見 良樹	小児科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
難治性小児白血病の病態解析と新規治療標的の探索	今村 俊彦	小児科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
レプチン・メラノコルチン系摂食抑制シグナルに着目した小児肥満のエクソーム解析	中島 久和	小児科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
BMPシグナルに着目した脊髄性筋萎縮症に対するSMN非依存的治療の探索	戸澤 雄紀	小児科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
胞巣型横紋筋肉腫におけるPLAGL1-FOXO1融合遺伝子の機能解析	宮地 充	小児科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
乳児急性リンパ性白血病に対するFLT3とCD19を標的としたCAR-T療法の開発	大曾根 眞也	小児科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
遺伝子改変肥満マウスにおけるデスアシルグレリンの抗肥満作用の機序解明	福原 正太	小児科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
咽頭弓動脈の発生過程における時空間的レチノイン酸シグナルの解明	竹下 直樹	小児科	738,265	補○ 委 文部科学省
低酸素応答因子HIF-1に着目した、若年性特発性関節炎に対する新規治療標的の探索	大内 一孝	小児科	520,000	補○ 委 文部科学省
神経芽腫に対する間葉系間質細胞を用いた遺伝子細胞治療法の開発	家原 知子	小児科	7,930,000	補○ 委 文部科学省
次世代プロテオミクスを用いたCRP陰性若年性特発性関節炎のバイオマーカー探索	秋岡 親司	小児科	2,340,000	補○ 委 文部科学省
新たな呼吸モニタリング法を用いた早産児人工呼吸器関連脳損傷の病態解明	瑞木 匡	小児科	1,690,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
WT1プロモーター制御性ウイルスによる小児悪性固形腫瘍に対する新たな治療戦略	吉田 秀樹	小児科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
CAR-T細胞とHMG-CoA還元酵素阻害薬(スタチン)の新規併用療法の開発	末松 正也	小児科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
DIZEによるACE2活性化の機序を利用した小児の新規肥満薬の開発を目指して	河辺 泰宏	小児科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
Ph-likeALLに対するCAR-T細胞とJAK阻害薬の新規併用療法の開発	末松 正也	小児科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
横紋筋肉腫に対する新規遺伝子治療の開発	菊地 颯	小児科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
全身性エリテマトーデス(SLE)におけるB細胞を標的としたCAR-T細胞療法の開発	久保 裕	小児科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
STXBP1てんかん性脳症におけるαシヌクレイン神経毒性の解明と標的治療の探索	千代延 友裕	小児科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
眼合併症型SJS/TEN発症における微生物関与の検証と病態解明ならびに発症予測	外園 千恵	眼科	5,460,000	補○ 委 文部科学省
ミトコンドリア機能とGDF15を軸とした緑内障の病態解明	三重野 洋喜	眼科	2,340,000	補○ 委 文部科学省
中心性漿液性脈絡網膜症固有の脈絡膜異常に係る分子病態解明と適正医療確立	寺尾 信宏	眼科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
羊膜円孔の組織修復のメカニズムの解明、及び羊膜を用いた治療の可能性	田中 寛	眼科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
invivo角膜内皮細胞制御法の開発を目指した細胞微小環境の統合的理解の構築	上野 盛夫	眼科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
角化と非角化を制御する分子メカニズム機構の解明	北澤耕司	眼科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
人工コラーゲン様ポリペプチドを用いた新規的黄斑円孔治療の最適化に向けた基礎的研究	小嶋 健太郎	眼科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
加齢と常在細菌叢の変化によるマイボーム腺脂質代謝制御機構の変調の解明	鈴木 智	眼科	1,430,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
長時間の近方視が前眼部形状におよぼす影響と近視進行の関係	稗田 牧	眼科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
視野障害進行速度に関わる遺伝子バリエーションと臨床因子の探索	池田 陽子	眼科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
次世代シーケンサーによる脂腺癌の発癌・転移遺伝子の解明と非観血的治療法の開発	渡辺 彰英	眼科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
miR-628による自然免疫を介した眼表面炎症制御機構の解明と新規治療法への応用	上田 真由美	眼科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
視機能別に行う学習環境整備が普通学級に在籍するロービジョン児に与える影響	鎌田 さや花	眼科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
長期予後成績に優れる移植用ヒト角膜内皮細胞選別法の確立	戸田 宗豊	眼科	390,000	補○ 委 文部科学省
培養ヒト角膜内皮細胞注入療法から発するリバーストランスレシヨナルリサーチ	木下 茂	共同研究講座 感覚器未来医療学講座	7,410,000	補○ 委 文部科学省
SJS/TEN眼後遺症の予後改善に向けた実用的研究	外園 千恵	眼科	13,000,000	補 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
乳房外パジェット病におけるがん微小環境の解明	浅井 純	皮膚科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
皮膚付属器悪性腫瘍におけるがんオルガノイドの樹立	在田 貴裕	皮膚科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
アレルギー性皮膚疾患の炎症と痒みにおける血小板活性化因子の役割の解明	峠岡 理沙	皮膚科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
進行期乳房外Paget病に対する免疫療法の開発	加藤 則人	皮膚科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
円形脱毛症におけるIKZF1の免疫制御機構の解明ならびに新規抗炎症治療薬への応用	荒川 幸保	皮膚科	910,000	補○ 委 文部科学省
アトピー性皮膚炎における血中および角質中メディエーターの発現の解析に関する研究	峠岡 理沙	皮膚科	2,000,000	補○ 委 大阪市
三次元画像による排尿動態解析法の開発	内藤 泰行	泌尿器科	2,080,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
腎移植後mTOR阻害薬の至適モニタリングを目指した前臨床実験でのバイオマーカー探索	奥見 雅由	泌尿器科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
ダイレクト・リプログラミングによる間質性膀胱炎のinvivo再生治療	井上 裕太	泌尿器科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
縫合を要しない尿路再建術の開発と検討	山田 剛司	泌尿器科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
深層学習AIを用いた高速・高精度・高信頼性尿細胞診診断支援システムの実用化	金子 正大	泌尿器科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
前立腺がんにおける概日時計分子基盤と細胞分化制御異常の解明	大橋 宗洋	泌尿器科	910,000	補○ 委 文部科学省
前立腺癌外照射治療におけるアーチファクトレスマーカーの継続研究	沖原 宏治	泌尿器科	520,000	補○ 委 文部科学省
医療費適正化に資する前立腺癌病巣標的化凍結治療:医師主導治験	浮村 理	泌尿器科	59,800,000	補 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
多分野・多領域・多地域を集約した日本発新規医療技術の研究開発 シリーズA282「ウェルビーイング向上を目指す高精度な次世代尿失禁治療器の開発」	内藤 泰行	泌尿器科	2,658,018	補 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
活性酸素が感音難聴を引き起こす機序の解明～リボシナプスに注目して～	毛利 宏明	耳鼻咽喉科	2,094,654	補○ 委 文部科学省
嚥下障害モデル動物を用いた嚥下関連筋への酸化ストレスの関与と抗酸化治療効果の解明	橋本 慶子	耳鼻咽喉科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
甲状腺癌ゲノム情報と免疫的癌微小環境に基づく個別化医療への探索	佐分利 純代	耳鼻咽喉科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
がん微小環境解析による頭頸部がん複合・順次治療の最適化	光田 順一	耳鼻咽喉科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
気道防御反射強化による嚥下性肺炎予防のための脳機能賦活化メカニズムの研究	布施 慎也	耳鼻咽喉科	1,287,157	補○ 委 文部科学省
癌微小環境マッピングに基づく甲状腺濾胞癌の被膜浸潤機構の解明	大村 学	耳鼻咽喉科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
多重免疫染色を用いた頭頸部癌不均一性の空間・時間的モニタリング法の最適化	辻川 敬裕	耳鼻咽喉科	1,040,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
多重免疫染色法およびイメージサイトメトリーを用いた内耳組織マクロファージの解析	二之湯 弦	耳鼻咽喉科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
声帯癬痕に対する選択的エストロゲン受容体修飾薬の作用機序の解明と新規治療法の開発	棕代 茂之	耳鼻咽喉科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
痙攣性発声障害の病態解明に迫る脳幹における発声中枢調整機構の解明	金子 真美	耳鼻咽喉科	910,000	補○ 委 文部科学省
ヒト内耳オルガノイドにおける内耳感覚上皮幹細胞の同定と単離培養	中村 高志	耳鼻咽喉科	779,457	補○ 委 文部科学省
視運動性眼振・後眼振における視野角・空間周波数の違いによる視覚情報処理の解明	瀧 正勝	耳鼻咽喉科	371,518	補○ 委 文部科学省
発達障害合併強迫症患者の治療法開発	阿部 能成	精神科・心療内科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
身体症状症関連群に遠隔・集団認知行動療法は効くか？－VRを用いた探求－	富永 敏行	精神科・心療内科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
精神療法を取り入れた不妊治療患者に対する家族形成支援プログラムの開発	中前 貴	精神科・心療内科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
内受容感覚の予測的処理に基づいた高齢者の遠隔型詐欺被害防止プログラムの開発	上野 大介	精神科・心療内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
認知症初期集中支援チームを利用した軽度行動障害への多職種連携早期介入モデルの構築	松岡 照之	精神科・心療内科	910,000	補○ 委 文部科学省
バーチャルリアリティ技術を用いた契約場面における意思決定能力評価法の開発	加藤 佑佳	精神科・心療内科	910,000	補○ 委 文部科学省
電気けいれん療法がもたらす認知的柔軟性:脳画像変化からメカニズムを解明する	渡辺 杏里	精神科・心療内科	780,000	補○ 委 文部科学省
精神科入院環境における暴力等の粗暴行為および違反行為に関する臨床疫学的研究	綾仁 信貴	精神科・心療内科	390,000	補○ 委 文部科学省
BNCTにおけるフェニルアラニン制限による腫瘍細胞のL-BPA取込促進研究	玉利 勇樹	放射線科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
画像誘導穿刺技術用ARTレーニングデバイスの開発	増井 浩二	放射線科	1,820,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
篩照射と画像融合技術を用いた新しいBNCT治療技術の開発	山崎 秀哉	放射線科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
肝臓がんに対する機能的画像を用いたスキャニング陽子線治療戦略最適化に向けた検討	尾方 俊至	放射線科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
PET/CT 動態撮像を活用した新しい診断手法の開発	小谷 知也	放射線科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
呼気ガス測定による陽子線治療後の気道炎症の非侵襲的モニタリングシステムの開発	木元 拓也	放射線科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
画像診断AIの開発に必要な教師データ精製に関する探索的研究	高橋 健	放射線科	910,000	補○ 委 文部科学省
短縮拡散強調像の新たなパラメータを用いた非造影MRIによる乳腺病変診断法の検討	後藤 真理子	放射線科	910,000	補○ 委 文部科学省
国際標準化にむけた組織内照射とIMRTを用いた子宮頸がんの適応照射法の開発と評価	鈴木 弦	放射線科	874,591	補○ 委 文部科学省
高線量率小線源治療法におけるモンテカルロ法を用いた線量分布検証システムの開発	武中 正	放射線科	780,000	補○ 委 文部科学省
呼吸位相を加味した3次元位置情報による標的体内運動の4次元解析システムの開発	相部 則博	放射線科	780,000	補○ 委 文部科学省
血管塞栓モデルを用いたコンピュータ流体解析によるNBCA-Lp混合液の動態解明	林 奈津子	放射線科	780,000	補○ 委 文部科学省
低出生体重児の発達予測における画像バイオマーカーの開発	赤澤 健太郎	放射線科	780,000	補○ 委 文部科学省
脳MRI計測による活動—血流—温度の局所領域相関に関する研究	酒井 晃二	放射線科	780,000	補○ 委 文部科学省
子宮内膜症が子宮筋層にもたらす影響: MRIによる灌流、拡散、蠕動、硬度の検討	高畑 暁子	放射線科	650,000	補○ 委 文部科学省
経直腸超音波とMRI画像fusionを用いた子宮頸癌の画像誘導小線源治療の開発	清水 大介	放射線科	300,000	補○ 委 文部科学省
一次造血とその循環を担う内皮ネットワーク形成機構の解明	佐波 理恵	放射線科	260,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
MRI画像による虚血ペナンプラ領域における再灌流後の最終梗塞巣の予測	田添 潤	放射線科	210,000	補○ 委 文部科学省
COVID-19に対するスパイク蛋白CpG-ODN経鼻投与ワクチンの開発	佐和 貞治	麻酔科	4,160,000	補○ 委 文部科学省
活性型第XI因子拮抗薬が線溶反応に及ぼす影響の解明	吉井 龍吾	麻酔科	2,600,000	補○ 委 文部科学省
オピオイド誘発性痛覚過敏の末梢メカニズム	山北 俊介	麻酔科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
痛覚プライミングによるモルヒネ誘発術後慢性痛の発症メカニズム	堀井 靖彦	麻酔科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
新型コロナウイルス感染症に対する特異的高力価免疫グロブリン製剤の開発	木下 真央	麻酔科	910,000	補○ 委 文部科学省
敗血症誘発性高血糖病態におけるTxnipの役割解明と治療への展開	石井 祥代	麻酔科	650,000	補○ 委 文部科学省
単球系細胞の小胞体ストレスによる食能低下に対し鎮静薬投与は保護的に作用するのか	飯田 淳	麻酔科	260,000	補○ 委 文部科学省
新規鎮痛因子GRK2インタラクトームとミトコンドリア連関による慢性痛治療の確立	天谷 文昌	疼痛・緩和ケア科	5,460,000	補○ 委 文部科学省
活性型第XI因子拮抗薬の拮抗治療および凝固モニタリング法の確立	小川 覚	疼痛・緩和ケア科	650,000	補○ 委 文部科学省
高齢者の活動が健康寿命に与える影響—京丹後長寿コホート研究から—	三上 靖夫	リハビリテーション科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
院外心停止患者に対する生理学的指標を用いた心肺蘇生法の有効性の検討	松山 匡	救急医療科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
丹後地域における認知症・老化についての縦断的疫学研究(丹後生き生き長寿研究)	高橋 央	救急医療科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
ポストコロナ時代における海外由来薬剤耐性菌の分子疫学解析及び効果的感染対策の確立	貫井 陽子	感染症科	2,210,000	補○ 委 文部科学省
硝子体疾患における眼内Tリンパ球6-colorflowcytometry解析	稲葉 亨	臨床検査部	130,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
肝細胞における免疫反応と毛細胆管破壊との関連の解明、移植後肝生検への応用	宮川 文	病院病理部	910,000	補○ 委	文部科学省
1次元ラマンバーコードを用いたCOVID-19および真菌感染症の迅速診断	足立 哲也	歯科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
歯周病菌外膜小胞に着目したアルツハイマー病の次世代型リキッドバイオプシーの開発	山本 俊郎	歯科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
細胞老化に着目した口腔粘膜炎に対する予防・治療薬の検討	大迫 文重	歯科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
ラマン分光法を用いた歯周病菌によるアルツハイマー病発症の分子病態の解明	足立 圭司	歯科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
口腔カンジダ症に対する革新的セラノスティクスシステムの開発	金村 成智	歯科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
長寿地域の高齢者における口腔機能および口腔内と腸内フローラの検討	滝沢 茂太	歯科	1,040,000	補○ 委	文部科学省

小計 7

計 232件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3-2)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Shin Matsubara	総合診療科	Prediction of acute lung injury assessed by chest computed tomography, oxygen saturation/fraction of inspired oxygen ratio, and serum lactate dehydrogenase in patients with COVID-19.	Journal of Infection and Chemotherapy; Available online 19 November, 2023	Original Article
2	Sakakida T, Ishikawa T, Doi T,et al.	消化器内科	Genomic profile and clinical features of MSI-H and TMB-high pancreatic cancers: real-world data from C-CAT database. J Gastroenterol.	J Gastroenterol. 2024 Feb;59(2):145-156.	Original Article
3	Sakakida T, Ishikawa T, Doi T,et al.	消化器内科	Genomic landscape and clinical features of rare subtypes of pancreatic cancer: analysis with the national database of Japan.	J Gastroenterol. 2023 Jun;58(6):575-585.	Original Article
4	Ishida T, Dohi O, Seya M, et al.	消化器内科	Underwater clip closure method for mucosal defects after duodenal endoscopic submucosal dissection (with video)	Dig Endosc . 2024 Feb;36(2):215-220.	Original Article
5	Miyazaki H, Dohi O, Ishida T, et al.	消化器内科	Conventional versus underwater endoscopic resection for superficial non-ampullary duodenal epithelial tumours	Jpn J Clin Oncol . 2024 Feb 7;54(2):137-145.	Original Article
6	Dohi O, Seya M, Yoshida N.	消化器内科	Efficacy of a novel self-assembling peptide gel for initial hemostasis during cold snare polypectomy for multiple duodenal adenomas	Dig Endosc. 2023 Sep;35(6):e119-e120.	Case report
7	Dohi O, Kato M, Takeuchi Y,et al.	消化器内科	Clinical course and management of adverse events after endoscopic resection of superficial duodenal epithelial tumors: Multicenter retrospective study	Dig Endosc. 2023 Nov;35(7):879-888.	Original Article
8	Sugino S, Inoue K, Zen K, et al.	消化器内科	Gastrointestinal angiodysplasia in patients with severe aortic stenosis – The endoscopic features of Heyde’s syndrome.	Digestion. 2023 Dec;104(6):468-479.	Original Article
9	Kobayashi R, Inoue K, Sugino S, et al.	消化器内科	Efficacy of Glycicumarin and Isoliquiritigenin in Suppressing Colonic Peristalsis in Both an Animal Model and a Clinical Trial	Biol Pharm Bull. 2024 Feb;47(2):373-382.	Original Article
10	Yoshida N, Meda-Minami A, Ishikawa H, et al.	消化器内科	Analysis of the development of gastric cancer after resecting colorectal lesions using large-scale health insurance claims data.	J Gastroenterol. 2023Nov;58(11):1105-1113.	Original Article
11	Yoshida N, Inagaki Y, Inada Y, et al.	消化器内科	Additional 30-second observation of the right-sided colon for missed polyp detection with texture and color enhancement imaging compared to narrow band imaging: A randomized trial.	Am J Gastroenterol. 2024Mar.;119(3):539-546	Original Article
12	Yoshida N, Hayashi Y, Togo D, et al.	消化器内科	An analysis of delayed bleeding in cases of colorectal endoscopic submucosal dissection due to types of direct oral anticoagulants in Japan.	Clin Gastroenterol Hepatol. 2024Feb.;22(2):271-282.e3.	Original Article
13	Yoshida N, Kuriu, Ikeda J, et al.	消化器内科	Effects and risk factors of TAS-102 in real-world patients with metastatic colorectal cancer, EROTAS-R study.	Int J Clin Oncol. 2023Oct.;28(10):1378-1387.	Original Article

小計 13

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
14	Tsubata H, Nakanishi N, Itatani K et al.	循環器内科	Pulmonary artery blood flow dynamics in chronic thromboembolic pulmonary hypertension	Sci Rep. 2023 Apr 20;13(1):6490.	Original Article
15	Ohkura T, Yamasaki T, Kakita K et al.	循環器内科	Comparison of maximum-sized visually guided laser balloon and cryoballoon ablation	Heart Vessels. 2023 May;38(5):691-698	Original Article
16	Tomura N, Nakagami T, Matoba S et al.	循環器内科	Acquired Coronary Artery Fistula With Pseudo-False Aneurysm Detected by Transthoracic Echocardiography After Myocardial Infarction	JACC Case Rep. 2023 Apr 21;14:101829	Case report
17	Kawasaki T, Shiraishi H, Matoba S.	循環器内科	Clinical Significance of Physical Examination for Hypertrophic Cardiomyopathy	Circ J. 2023 Jun 7	Original Article
18	Ramadhiani R, Ikeda K, Miyagawa K et al.	循環器内科	Endothelial cell senescence exacerbates pulmonary hypertension by inducing juxtacrine Notch signaling in smooth muscle cells	iScience. 2023 Apr 11;26(5):106662	Original Article
19	Takamatsu K, Yamano T, Zen K et al.	循環器内科	Doppler Underestimates Transvalvular Gradient Measured by Catheterization in Patients With Severe Aortic Stenosis	Am J Cardiol. 2023 May 15;195:28-36	Original Article
20	Ueno D, Ikeda K, Yamazaki E et al.	循環器内科	Spermidine improves angiogenic capacity of senescent endothelial cells, and enhances ischemia-induced neovascularization in aged mice	Sci Rep. 2023 May 23;13(1):8338	Original Article
21	Ito N, Zen K, Takahara M et al.	循環器内科	Left ventricular hypertrophy as a predictor of cardiovascular outcomes after transcatheter aortic valve replacement	ESC Heart Fail. 2023 Apr;10(2):1336-1346	Original Article
22	Nishi M, Seki T, Shikuma A et al.	循環器内科	Association between patient volume to cardiologist, process of care, and clinical outcomes in heart failure	ESC Heart Fail. 2023 Apr 19	Original Article
23	Nishi M, Nagamitsu R, Matoba S et al.	循環器内科	Development of a Prediction Model for Healthy Life Years Without Activity Limitation: National Cross-sectional Study	JMIR Public Health Surveill. 2023 May 17;9:e46634	Original Article
24	Yaku H, Kato T, Morimoto T et al.	循環器内科	Rationale and study design of the GOREISAN for heart failure (GOREISAN- HF) trial: A randomized clinical trial	Am Heart J. 2023 Jun;260:18-25	Original Article
25	Yanagiuchi T, Kato T, Hirano K et al.	循環器内科	Predictors of delayed wound healing after simultaneous endovascular treatment and minor forefoot amputation for chronic limb-threatening ischemia with wound infection	Vascular. 2023 Apr;31(2):333-340	Original Article
26	Yanagiuchi T, Kato T, Hirano K et al.	循環器内科	High Global Limb Anatomic Staging System Femoropopliteal Grade is Positively Associated with Wound Healing in Patients with Chronic Limb- Threatening Ischemia Undergoing Endovascular Therapy Only for Femoropopliteal Disease	Ann Vasc Surg. 2023 May;92:264-271	Original Article
27	Kasahara T, Ogata T, Nakanishi N et al.	循環器内科	Cavin-2 loss exacerbates hypoxia- induced pulmonary hypertension with excessive eNOS phosphorylation and protein nitration	Heliyon. 2023 Jun 11;9(6):e17193	Original Article
28	Yukawa A, Ueno D, Narumoto J et al.	循環器内科	Survey of physicians' and patients' understanding, perceptions, and attitudes toward depressive state in atrial fibrillation	Geriatr Gerontol Int. 2023 Jul;23(7):543-548	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
29	Hirao Y, Seki T, Watanabe N et al.	循環器内科	Health-related Quality of Life after Percutaneous Coronary Intervention for Stable Ischemic Heart Disease: a systematic review and meta-analysis	Can J Cardiol. 2023 Jul 6:S0828-282X(23)01471-X	Original Article
30	Higuchi Y, Ogata T, Nakanishi N et al.	循環器内科	Cavin-2 promotes fibroblast-to-myofibroblast trans-differentiation and aggravates cardiac fibrosis	ESC Heart Fail. 2023 Oct 24	Original Article
31	Nishi M, Shikuma A, Seki T et al.	循環器内科	In-hospital mortality and cardiovascular treatment during hospitalization for heart failure among patients with schizophrenia: a nationwide cohort study	Epidemiol Psychiatr Sci. 2023 Oct 18;32:e62	Original Article
32	Miki T, Senoo K, Ohkura T et al.	循環器内科	Importance of Monitoring Cardiac Arrhythmias Using 14-Day Patch Electrocardiography in Super Older Patients Who Underwent Transcatheter Aortic Valve Replacement	Am J Cardiol. 2023 Oct 16;209:57-59.	Original Article
33	Yashige M, Inoue K, Zen K et al.	循環器内科	Gastrointestinal Angiodysplasia before and after Treatment of Severe Aortic Stenosis	N Engl J Med. 2023 Oct 19;389(16):1530-1532	Original Article
34	Yashige M, Zen K, Kataoka E et al.	循環器内科	Usefulness of catheter pressure measurement using the Navvus RXi system to determine left ventricular outflow tract obstruction and aortic stenosis severity: a case report	Eur Heart J Case Rep. 2023 Sep 21;7(10):ytad471.	Original Article
35	Shikuma A, Nishi M, Matoba S	循環器内科	Sex Differences in Process-of-Care and In-Hospital Prognosis Among Elderly Patients Hospitalized With Acute Myocardial Infarction	Circ J. 2023 Oct 5	Original Article
36	Yamano M, Yamano T, Nakamura T et al.	循環器内科	Mitral regurgitation outcomes after transcatheter atrial septal defect closure	Int J Cardiol. 2023 Sep 29:131404	Original Article
37	Hino T, Omura SN, Nakagawa R et al.	循環器内科	An AsCas12f-based compact genome-editing tool derived by deep mutational scanning and structural analysis	Cell. 2023 Oct 26;186(22):4920-4935.e23	Original Article
38	Yanagiuchi T, Kato T, Hirano K et al.	循環器内科	Infrapopliteal 3-Vessel Occlusive Disease Is the Only Predictor of Wound Recurrence After Complete Wound Healing via Endovascular Therapy in Patients With Chronic Limb-threatening Ischemia	J Endovasc Ther. 2023 Sep 13:15266028231197983	Original Article
39	Fujimoto T, Tsubata H, Zen K et al.	循環器内科	Optical coherence tomography finding for restenosis in the superficial femoral artery treated with paclitaxel-coated balloon	Cardiovasc Interv Ther. 2023 Aug 31	Original Article
40	Urano E, Itoh Y, Suzuki T et al.	循環器内科	n inhaled ACE2 decoy confers protection against SARS-CoV-2 infection in preclinical models	Sci Transl Med. 2023 Aug 30;15(711):eadi2623	Original Article
41	Sugino S, Inoue K, Zen K et al.	循環器内科	Gastrointestinal Angiodysplasia in Patients with Severe Aortic Stenosis: The Endoscopic Features of Heyde's Syndrome	Digestion. 2023 Aug 24:1-12	Original Article
42	Amaki M, Moriwaki K, Nakai M et al.	循環器内科	Cost-effective analysis of transcatheter aortic valve replacement in patients with severe symptomatic aortic stenosis: A prospective multicenter study	J Cardiol. 2023 Aug 3:S0914-5087(23)00184-3	Original Article
43	Nishimura T, Senoo K, Makino M et al.	循環器内科	Prediction model for the new onset of atrial fibrillation combining features of 24-hour Holter electrocardiogram with 12-lead electrocardiogram	Int J Cardiol Heart Vasc. 2023 Jul 18;47:101245	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
44	Minami Y, Hoshino A, Higuchi Y et al.	循環器内科	Liver lipophagy ameliorates nonalcoholic steatohepatitis through extracellular lipid secretion	Nat Commun. 2023 Jul 13;14(1):4084	Original Article
45	Miyazaki T, Kanatsu- Shinohara M, Ogonuki N et al.	循環器内科	Glutamine protects mouse spermatogonial stem cells against NOX1-derived ROS for sustaining self-renewal division in vitro	Development. 2023 Oct 15;150(20):dev201157	Original Article
46	Hashimoto S, Yamano M, Yamano T et al.	循環器内科	Mitral valve leaflet stiffness predicts residual mitral regurgitation after transcatheter edge-to-edge mitral valve repair	Echocardiography. 2023 Nov 20	Original Article
47	Yasuda T, Matsuoka T, Takagi T et al.	循環器内科	The gut microbiota associated with pineal gland calcification	Geriatr Gerontol Int. 2023 Nov 22	Original Article
48	Kasai K, Kawasaki T, Hashimoto S	循環器内科	Jugular Venous Pressure and Kussmaul's Sign as Predictors of Outcome in Heart Failure	Int Heart J. 2023Nov;64(6):1088-1094	Original Article
49	Hayashi H, Kawasaki T, Sakai C et al.	循環器内科	Hummingbird-like cannon a-waves	Eur Heart J Case Rep. 2023 Dec 20;7(12):ytad613	Case report
50	Nishiji T, Hoshino A, Uchio Y et al.	循環器内科	Generation of inducible mitophagy mice	Genes Cells. 2023 Dec 22	Original Article
51	Tomita S, Nakanishi N, Ogata T et al.	循環器内科	The Cavin-1/Caveolin-1 interaction attenuates BMP/Smad signaling in pulmonary hypertension by interfering with BMPR2/Caveolin-1 binding	Commun Biol. 2024 Jan 5;7(1):40	Original Article
52	Yamano M, Yamano T, Nakamura T et al.	循環器内科	Mitral regurgitation outcomes after transcatheter atrial septal defect closure	Int J Cardiol. 2024 Jan 15;395:131404	Original Article
53	Nishiji T, Hoshino A, Uchio Y et al.	循環器内科	Generation of inducible mitophagy mice	Genes Cells. 2024 Feb;29(2):159-168	Original Article
54	Yamano M, Yamano T, Matoba S	循環器内科	Right ventricular dilatation: echocardiographic differential diagnosis	J Med Ultrason (2001). 2024 Jan 16	Original Article
55	Yamamoto Y, Yamamoto T, Miyamoto N et al.	循環器内科	Oral Function and the Oral Microbiome in the Elderly in the Kyotango Area	Dent J (Basel). 2024 Jan 18;12(1):16	Original Article
56	Iwakoshi H, Asada YC, Nakata M et al.	循環器内科	Impact of Sleep Apnea on Nocturnal Parasympathetic Activity in Atrial Fibrillation Patients After Catheter Ablation - Implications for Heart Rate Variability Analysis	Circ J. 2024 Jan 27	Original Article
57	Tsuji Y, Ogata T, Mochizuki K et al.	循環器内科	Myofibroblasts impair myocardial impulse propagation by heterocellular connexin43 gap-junctional coupling through micropores	Front Physiol. 2024 Feb 23;15:1352911	Original Article
58	Senoo K, Yukawa A, Iwakoshi H et al.	循環器内科	Impact of physician interpretation of at- home ECG on clinically-detected AF	Int J Cardiol Heart Vasc. 2024 Mar 5;51:101378	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
59	Taya T, Kami D, Teruyama F et al.	循環器内科	Peptide-encoding gene transfer to modulate intracellular protein-protein interactions	Mol Ther Methods Clin Dev. 2024 Feb 28;32(2):101226	Original Article
60	Yashige M, Zen K, Yamano T et al.	循環器内科	Critical clip opening while locked: a rare phenomenon after transcatheter edge-to-edge mitral valve repair	Eur Heart J Case Rep. 2024 Mar 23;8(4):ytæ148	Case report
61	Takahara M, Yamano M, Yamano T et al.	循環器内科	Dynamic Pulmonary Vein Stenosis After Left Pneumonectomy	JACC Case Rep. 2024 Feb 29;29(7):102284	Case report
62	Tomura N, Nakagami T, Kikai M et al.	循環器内科	Acute Heart Failure Due to a Fistula Between the Anastomatic Pseudoaneurysm and the Right Atrium Following a Previous Aortic Dissection Repair	CJC Open. 2024 Jan 26;6(5):755-758	Case report
63	Nakai K, Umehara M, Minamida A et al.	腎臓内科	Streptozotocin induces renal proximal tubular injury through p53 signaling activation	Sci Rep. 2023 May 29;13(1):8705	Original Article
64	Tomita-Yagi A, Ozeki-Okuno N, Watanabe-Uehara N et al.	腎臓内科	The importance of proinflammatory failed-repair tubular epithelia as a predictor of diabetic kidney disease progression	iScience. 2024 Jan 26;27(2):109020	Original Article
65	Okuno-Ozeki N, Kohama Y, Taguchi H et al.	腎臓内科	Aversion to a High Salt Taste is Disturbed in Patients With CKD	Kidney Int Rep. 2024 Feb 16;9(5):1254-1264	Original Article
66	Nakamura R, Yamada T, Tanaka S et al.	呼吸器内科	Comparison of the prognosis of symptomatic cerebral infarction and pulmonary embolism in patients with advanced non-small cell lung cancer	Cancer Med 12(8):9097-9105. 2023 Apr	Original Article
67	Morita-Tanaka S, Miyagawa-Hayashino A, Yamada T et al.	呼吸器内科	Significance of localized expression of full-length growth differentiation factor-15 in cachexia of advanced non-small cell lung cancer	Support Care Cancer. 31(5):308. 2023 Apr	Original Article
68	Nakamura R, Fujii H, Yamada T et al.	呼吸器内科	Analysis of Tumor Heterogeneity Through AXL Activation in Primary Resistance to EGFR Tyrosine Kinase Inhibitors	JTO Clin Res Rep. 4(6):100525. 2023 May	Original Article
69	Morimoto K, Yamada T, Sawada R et al.	呼吸器内科	Predictive value of p53 and AXL immunostaining for the efficacy of immune checkpoint inhibitor-based therapy after osimertinib treatment in patients with epidermal growth factor-mutant non-small cell lung cancer	Cancer Immunol Immunother.72(6):1699-1707.2023 Jun	Original Article
70	Morimoto K, Yamada T, Takeda T et al.	呼吸器内科	Prospective observational study evaluating the prognostic value of the G8 screening tool for extensive-stage small cell lung cancer patients who received programmed death-ligand 1 inhibitor plus platinum-etoposide chemotherapy	Drugs Aging. 40(6):563-571.2023 Jun	Original Article
71	Iwasaku M, Uchino J, Chibana K et al.	呼吸器内科	Prophylactic treatment of dacomitinib-induced skin toxicities in epidermal growth factor receptor-mutated non-small-cell lung cancer: A multicenter, Phase II trial	Cancer Med. 12(14):15117-15127. 2023 Jul	Original Article
72	Kawachi H, Yamada T, Tamiya M et al.	呼吸器内科	Concomitant proton pump inhibitor use with pembrolizumab monotherapy vs immune checkpoint inhibitor plus chemotherapy in patients with non-small cell lung cancer	JAMA Netw Open. 6(7):e2322915. 2023 Jul	Original Article
73	Morimoto K, Yamada T, Takeda T et al.	呼吸器内科	Clinical efficacy and safety of first- or second-generation EGFR-TKIs after osimertinib resistance for EGFR mutated lung cancer: A prospective exploratory study	Target Oncol.18(5):657-665.2023 Sep	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
74	Morimoto K, Yamada T, Kawachi H et al.	呼吸器内科	Chemoimmunotherapy Versus Pembrolizumab as a First-Line Treatment for Patients with Advanced Non-small Cell Lung Cancer and High PD-L1 Expression: Focus on the Role of Performance Status	Target Oncol . 2023 Nov;18(6):915- 925. doi: 10.1007/s11523-023- 01012-1. Epub 2023 Oct	Original Article
75	Morimoto K, Yamada T, Takayama K	呼吸器内科	The landscape of immune therapy in vulnerable patients with advanced non- small cell lung cancer: a narrative review	Transl Lung Cancer Res. 2023 Nov 30;12(11):2310- 2321. doi: 10.21037/tlcr- 23-581. Epub 2023 Nov	Review
76	Katayama Y, Yamada T, Morimoto K et al.	呼吸器内科	Comparing Three Different Anti-Programmed Death-Ligand 1 Antibodies in Immunohistochemical Evaluation of Combined Chemoimmunotherapy Response in Patients With NSCLC: A Prospective Study	JTO Clin Res Rep . 2024 Jan 30;5(3):100644. doi: 10.1016/j.jtocr.2024.100 644. eCollection 2024 Mar	Original Article
77	Ishida M, Iwasaku M, Doi T et al.	呼吸器内科	Nationwide data from comprehensive genomic profiling assays for detecting driver oncogenes in non-small cell lung cancer	Cancer Sci ;115(5):1656-1664. doi: 10.1111/cas.16130. Epub 2024 Mar	Original Article
78	Okamura Takuro, Hasegawa Y, Hamaguchi M, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	The role of chicken eggs in modulating sarcopenic obesity and gut microbiota in db/db mice.	Front. Microbiol 2023 Oct;14: 1281217	Original Article
79	Okamura Takuro, Hamaguchi M, Nakajima H, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Milk protects against sarcopenic obesity due to increase in the genus Akkermansia in feces of db/db mice	Journal of Cachexia, Sarcopenia and Muscle 2023 Jun;14(3): 1395-1409	Original Article
80	Nakajima Hanako, Okada H, Yoshimura Y, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Younger patients and low c-peptide immunoreactivity index but not nutritional states affect fasting blood ketone levels in Japanese with type 1 diabetes after sodium-glucose cotransporter 2 inhibitor administration.	Diabetes, Obesity & Metabolism 2023.Dec; 25(12): 3682-3689	Original Article
81	Nakajima Hanako, Okada H, Kobayashi A, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Leucine and Glutamic Acid as a Biomarker of Sarcopenic Risk in Japanese People with Type 2 Diabetes.	Nutrients 2023.May; 15(10): 2400	Original Article
82	Hasegawa Yuka, Okamura T, Nakajima H, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Metabolic outcomes and changes in innate immunity induced by diesel exhaust particles airway exposure and high-fat high-sucrose diet	Life Sciences 2023 Aug; 326: 121794	Original Article
83	Hasegawa Yuka, Okada H, Nakajima H, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Effects of weight loss on metabolic dysfunction-associated fatty liver disease in Japanese people: Non-alcoholic fatty liver disease in the Gifu area, longitudinal analysis study.	Hepatology Research 2023 Nov; 1-11	Original Article
84	Hosomi Yukako, Ushigome E, Kitagawa N, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Predictive power of isolated high home systolic blood pressure for cardiovascular outcomes in individuals with type 2 diabetes mellitus: KAMOGAWA-HBP study.	Diabetes and Vascular Disease Research 2023 Nov-Dec; 20(6): 1-9	Original Article
85	Hironaka Junya Okada H, Hamaguchi M, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Effects of dapagliflozin on renal function in type 1 diabetes patients in the real world: a retrospective multicenter study of the KAMOGAWA-A cohort.	Diabetes Research and Clinical Practice 2023 Aug; 202: 110794	Original Article
86	Imai Dan, Ushigome E, Hamaguchi M, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Factors associated with bleeding complications in patients with coronavirus disease 2019 admitted to intensive care units: A multicenter retrospective cohort study	Journal of Diabetes Investigation 2023 Nov; 14(11): 1312-1317	Original Article
87	Saijo Yuto, Okada H, Hata S, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Reasons for Discontinuing Treatment with Sodium-Glucose Cotransporter 2 Inhibitors in Patients with Diabetes in Real-World Settings: The KAMOGAWA- A Study.	Journal of Clinical Medicine. 2023 Nov; 12(22): 6993	Original Article
88	Ichikawa Takahiro, Okada H, Hamaguchi M, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Estimated small dense low-density lipoprotein-cholesterol and incident type 2 diabetes in Japanese people: Population-based Panasonic cohort study 13.	Diabetes Research and Clinical Practice 2023 May; 199: 110665	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
89	Kobayashi Genki, Okamura T, Majima S, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Effects of Royal Jelly on Gut Dysbiosis and NAFLD in db/db Mice.	Nutrients 2023 May; 15: 2580	Original Article
90	Yuge H, Okada H, Hamaguchi M, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Triglycerides/HDL cholesterol ratio and type 2 diabetes incidence; Panasonic Cohort Study 10.	Cardiovascular Diabetology 2023 Nov; 22(1): 308	Original Article
91	Imai Dan, Nakanishi N, Shinagawa N, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Association of Elevated Serum Branched-chain Amino Acid Levels With Longitudinal Skeletal Muscle Loss	Journal of the Endocrine Society 2024 Jan; 8(2): bvad178.	Original Article
92	Inoue Y, Fujino T, Chinen S, Niiyama-Uchibori Y et al.	血液内科	Cervical Local Cytokine Release Syndrome Following Chimeric Antigen Receptor T-cell Therapy in Patients With Relapsed or Refractory Diffuse Large B-cell Lymphoma.	Cureus. 2023 May 11;15(5):e38905.	Case report
93	Tsukamoto T, Kinoshita M, Yamada K et al.	血液内科	Imaging flow cytometry-based multiplex FISH for three IGH translocations in multiple myeloma..	J Hum Genet. 2023 Jul;68(7):507-514.	Original Article
94	Okamoto H, Inoue Y, Miyashita A et al.	血液内科	KOTOSG investigators; Real-world practice-based prognostic model for higher-risk myelodysplastic syndromes treated with azacitidine monotherapy: The Kyoto prognostic scoring system.	Int J Hematol. 2023 Sep;118(3):323-332.	Original Article
95	Mizuhara K, Shimura Y, Tsukamoto T et al.	血液内科	Tumour-derived exosomes promote the induction of monocytic myeloid-derived suppressor cells from peripheral blood mononuclear cells by delivering miR-106a-5p and miR-146a-5p in multiple myeloma.	Br J Haematol. 2023 Nov;203(3):426-438.	Original Article
96	Onishi A, Shimura Y, Nakamura T et al.	血液内科	Management of Acquired Factor X Deficiency Caused by In Vitro Non-neutralizing Anti-factor X Autoantibodies with Pre-emptive Corticosteroid Therapy.	Intern Med. 2023 Aug;62(16):2401-2406.	Case report
97	Onishi A, Muramatsu A, Shimura Y et al.	血液内科	Progressive Multifocal Leukoencephalopathy Initially Suspected As Brain Relapse From Classical Hodgkin's Lymphoma.	Cureus. 2023 Aug 23;15(8):e44000.	Case report
98	Shimura Y, Shibayama H, Nakaya A, et al.	血液内科	Real-world data on induction therapy in patients with transplant-ineligible newly diagnosed multiple myeloma: retrospective analysis of 598 cases from Kansai Myeloma Forum.	Int J Hematol 2023 Nov;118(5):609-617.	Original Article
99	Katsuragawa-Taminishi Y, Mizutani S, Kawaji-Kanayama Y et al.	血液内科	Triple targeting of RSK, AKT, and S6K as pivotal downstream effectors of PDPK1 by TAS0612 in B-cell lymphomas.	Cancer Sci. 2023 Dec;114(12):4691-4705.	Original Article
100	Kawaji-Kanayama Y, Tsukamoto T, Nakano M et al.	血液内科	miR-17-92 cluster-BTG2 axis regulates B-cell receptor signaling in mantle cell lymphoma.	Cancer Sci. 2024 Feb;115(2):452-464	Original Article
101	Onishi A, Matsumura-Kimoto Y, Mizutani S et al.	血液内科	Kyoto Clinical Hematology Study Group investigators; Negative impact of immunoparesis in response to anti-SARS-CoV-2 mRNA vaccination of patients with multiple myeloma.	Int J Hematol. 2024 Jan;119(1):50-61.	Original Article
102	Inoue Y, Okamoto H, Miyashita A et al.	血液内科	Clinical impacts of severe thrombocytopenia in the first cycle of azacitidine monotherapy and cytogenetics in patients with myelodysplastic syndrome: The Kyoto Conditional Survival Scoring System.	Oncol Lett. 2023 Dec 18;27(2):62.	Original Article
103	Niiyama-Uchibori Y, Okamoto H, Miyashita A et al.	血液内科	Skeletal muscle index impacts the treatment outcome of elderly patients with diffuse large B cell lymphoma.	Hematol Oncol. 2024 Jan;42(1):e3252.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
104	Ide D, Fujino T, Kobayashi T et al.	血液内科	Prognostic model for relapsed/refractory transplant-ineligible diffuse large B-cell lymphoma utilizing the lymphocyte-to-monocyte ratio.	Int J Hematol. Epub 2024 Mar 16.	Original Article
105	Fujino Yuuzo	脳神経内科	FUS regulates RAN translation through modulating the G-quadruplex structure of GGGGCC repeat RNA in C9orf72-linked ALS/FTD	Elife. 2023 Jul 18	Original Article
106	Noto Yuichi	脳神経内科	Assessment of motor unit firing by high-density surface electromyography detects motor neuronal hyperexcitable state in amyotrophic lateral sclerosis	Muscle Nerve. 2023 Aug;68(2):149-156	Original Article
107	Chie Yamamoto, Nukui Y, Furukawa K	感染症科	SARS-CoV-2 RT-PCR as a universal screening on planned admission in asymptomatic patients	Journal of Infection and Chemotherapy. 2023年12月21日(オンライン)	Original Article
108	Shutaro Sumiyoshi, Shiozaki A, Kosuga T, et al.	消化器外科	Functional Analysis and Clinical Importance of ATP1A1 in Colon Cancer	Annals of surgical oncology..2023 Oct; 30(11): 6898-6910	Original Article
109	Atsuhiko Shiozaki, Fukami T, Shimizu H, et al.	消化器外科	Effects of TRPV2 on the Expression of PD-L1 and Its Binding Ability to PD-1 in Gastric Cancer.	Annals of surgical oncology..2023 Dec; 30(13): 8704-8716	Original Article
110	Atsuhiko Shiozaki, Inoue H, Shimizu H, et al.	消化器外科	Cancer Stem Cells of Esophageal Adenocarcinoma are Suppressed by Inhibitors of TRPV2 and SLC12A2.	Annals of surgical oncology..2023 Dec; 30(13): 8743-8754	Original Article
111	Atsushi Shiozaki, Kurashima K, Kudou M, et al.	消化器外科	Cancer Stem Cells of Hepatocellular Carcinoma Are Suppressed by the Voltage-gated Calcium Channel Inhibitor Amlodipine	Anticancer Research. 2023 Nov; 43(11): 4855-4864	Original Article
112	Yusuke Takashima, Komatsu S, Nishibeppu K, et al.	消化器外科	A shorter distal resection margin is a surrogate marker of nodal metastasis and poor prognosis in distal gastrectomy for advanced gastric cancer	BMC Cancer.2023 Nov 7; 23(1): 1075	Original Article
113	Shutaro Sumiyoshi, Kiuchi J, Kuriu Y, et al.	消化器外科	Postoperative liver dysfunction is associated with poor long-term outcomes in patients with colorectal cancer: a retrospective cohort study	BMC gastroenterology..2023 Apr 18; 23(1): 128	Original Article
114	Hirofumi Furuke, Konishi H, Arita T, et al.	消化器外科	Plasma microRNA-192-5p can predict the response to neoadjuvant chemotherapy and prognosis in esophageal cancer	Cancer Science.2023 Apr; 114(4): 1686-1696	Original Article
115	Yusuke Takashima, Komatsu S, Ohashi T, et al.	消化器外科	Plasma miR-1254 as a predictive biomarker of chemosensitivity and a target of nucleic acid therapy in esophageal cancer	Cancer Science.2023 Jul; 114(7): 3027-3040	Original Article
116	Jun Kiuchi, Kuriu Y, Arita T, et al.	消化器外科	Preoperative oral antibiotic administration in patients undergoing curative resection with stoma creation for colorectal cancer: effectiveness in preventing effectiveness in preventing surgical site infection and the possibility of peristomal candidiasis induced by enterobacterial alteration.	Colorectal Disease.2023 Nov; 25(11): 2217-2224	Original Article
117	Hirofumi Inoue, Kudou M, Shiozaki A, et al.	消化器外科	Value of the Tumor Stroma Ratio and Structural Heterogeneity Measured by a Novel Semi-Automatic Image Analysis Technique for Predicting Survival in Patients with Colon Cancer.	Diseases of the colon and rectum.2023 Nov 1; 66(11): 1449-1461	Original Article
118	Hirofumi Furuke, Konishi H, Fujiwara H, et al.	消化器外科	Predictors of the difficulty of transcervical subcarinal lymph node dissection for esophageal cancer.	Esophagus.2023 Jul.; 20(3): 420-426	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
119	Jun Shibamoto, Arita T, Konishi H,et al.	消化器外科	Roles of miR-4442 in Colorectal Cancer: Predicting Early Recurrence and Regulating Epithelial-Mesenchymal Transition	Genes (Basel).2023 Jul 8; 14(7): 1414	Original Article
120	Hajime Kamiya, Komatsu S, Nishibeppu K, et al.	消化器外科	Obesity paradox as a new insight from postoperative complications in gastric cancer.	Scientific Reports.2023 Jun 21; 13(1): 10116	Original Article
121	Hiroshi Arakawa, Komatsu S, Kamiya H, et al.	消化器外科	Differences of clinical features and outcomes between male and female elderly patients in gastric cancer.	Scientific Reports.2023 Oct 11; 13(1): 17192	Original Article
122	Kawajiri H, Kobayashi T, Manabe K,et al.	心臓血管外科	Utilizing a long sheath to minimize atheroma manipulation (minimal manipulation approach) during Zone 1 and 2 thoracic endovascular aortic repair with a shaggy aorta	J Artif Organs. 2024, Mar21.	Case report
123	Hohri Y, Kawajiri H, Kanda K,et al.	心臓血管外科	Side-by-side deployment of gore excluder legs at a narrow terminal aorta for endovascular aneurysm repair	J Artif Organs. 2023 May 25.	Original Article
124	Yamazaki S, Numata S, Kawajiri H, et al.	心臓血管外科	Effect of Left Ventricular Hyperenhancement in Magnetic Resonance Imaging on Reverse Remodeling After Mitral Valve Repair for Moderate Ischemic Mitral Regurgitation	Semin Thorac Cardiovasc Surg. 2023 Summer;35(2):239-248.	Original Article
125	Asada S, Yamagishi M, Oda S,et al.	小児心臓血管外科	Modified half-turned truncal switch operation for posterior transposition of the great arteries with left ventricular outflow tract obstruction.	JTCVS Tech. 2023 Jun 3;20:138-142.	Case report
126	Asada S, Oda S, Maeda Y, et al.	小児心臓血管外科	Configuration of the neo-aortic root after chimney reconstruction in the Norwood procedure	Eur J Cardiothorac Surg . 2024 Mar 29;65(4):e2ae103.	Original Article
127	Hongu H, Oda S, Maeda Y,et al.	小児心臓血管外科	A new predictor of the optimal pulmonary artery reconstruction method during the arterial switch operation	Eur J Cardiothorac Surg. 2023 Aug 1;64(2):e2ad173.	Original Article
128	Inoue Masayoshi, Yamamoto H, Okada Y, et al.	呼吸器外科	Perioperative outcomes of minimally invasive surgery for large malignant thymic epithelial tumors and for total thymectomy.	Surgery Today. 53(9):1089-1099, 2023 Sep	Original Article
129	Suzuki Hirofumi, Tsunezuka H, Okada S, et al.	呼吸器外科	Non-stapling thoracoscopic surgery for spontaneous pneumothorax in young patients.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2023 Dec	Original Article
130	Furuya Tatsuo, Ishihara S, Ogi H, et al.	呼吸器外科	Characteristic differences in the abundance of tumor-infiltrating lymphocytes and intratumoral developing T cells in thymoma, with special reference to PD-1 expression.	Cancer Immunol Immunother. 72(8):2585- 2596, 2023 Aug	Original Article
131	Nishii- Mitsuaki Machiko, Nakazono C, Okada S, et	呼吸器外科	Mesenchymal cystic hamartoma of the lung mimicking simple pulmonary aspergilloma: a case report.	Gen Thorac Cardiovasc Surg Cases 2, 23, 2023 May	Case report
132	Morita Midori, Ooe A, Ishii W, et al.	内分泌・乳腺外科	Optimal Treatment of Hormone Receptor-positive Advanced Breast Cancer Patients With Palbociclib.	Anticancer Research. 2023 Jun	Original Article
133	Matsumoto Saya, Tsunashima R, Kitano S, et al.	内分泌・乳腺外科	Multi-gene assay 95- and 155-gene classifiers for prognosis prediction and chemotherapy omission in lymphnode positive luminal-type breast cancer	Cancer Treatment and Research Communications . 2023 May 18	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
134	Naoi Yasuto, Tsunashima R, Shimazu K, et al.	内分泌・乳腺外科	Validation of the prognosis of patients with ER-positive, HER2-negative and node-negative invasive breast cancer classified as low risk by Curebest™ 95GC Breast in a multi-institutional registry study	Oncology Letters . 2023 Apr 5	Original Article
135	Satomi Tomida, Teruhide K, et al.	内分泌・乳腺外科	Seven-plus hours of daily sedentary time and the subsequent risk of breast cancer: Japan Multi-Institutional Collaborative Cohort Study	Cancer Science. 2024 Feb.	Original Article
136	Umebayashi D, Naito K, Kurokawa R, et al.	脳神経外科	Epidemiology and Comparative Analysis of Outcomes of Intramedullary Spinal Cord Tumor Between Pediatric and Adult Patients	Spine (Phila Pa 1976). 2024 Jan 15;49(2):107- 115.	Original Article
137	Kishida K, Maruyama D, Kotani S, et al.	脳神経外科	Clinical Significance of Stiffness during Endoscopic Surgery for Intracerebral Hemorrhage: A Retrospective Study	Neurol Med Chir (Tokyo) . 2023 Dec 15;63(12):563-570.	Original Article
138	Takeuchi H, Inaba T, Shishido- Hara Y, et al.	脳神経外科	Analysis of False-negative Findings of the Incomparable Accuracy and Swiftness of Flow Cytometric Diagnosis of Primary Central Nervous System Lymphoma	Neurol Med Chir (Tokyo) . 2023 Nov 15;63(11):495-502.	Original Article
139	Kawajiri T, Takeuchi H, Takahashi Y, et al.	脳神経外科	Biopsy-proven Primary CNS Lymphoma in the Medulla Oblongata Presenting as Anorexia	NMC Case Rep J . 2023 May 17;10:131- 137.	Case report
140	Yamamoto H, Nanto M, Kishida K, et al.	脳神経外科	Iatrogenic Vertebral Arteriovenous Fistula Involving Brachiocephalic Vein Due to Central Venous Catheterization: A Case Report	J Endovasc Ther. 2023 Oct;30(5):779-783.	Case report
141	Morisako T, Umebayashi D, Nagai T, Yamanaka T, et al.	脳神経外科	Two Cases of Atypical Teratoid/Rhabdoid Tumor in the Spinal Cord: Loss of SMARCB1 in a Child and Loss of SMARCA4 in an Adult	NMC Case Rep J . 2024 Jan 31:11:27-32.	Case report
142	Hayashi Daichi, Shirai T, Terauchi R, et al.	整形外科	A natural organic compound "Decursin" has both antitumor and renal protective effects: Treatment for osteosarcoma	J Oncol. 2023 Dec (オン ライン)	Original Article
143	Hosokawa Toshihiro, Ikoma K, Maki M, et al.	整形外科	Relationship between arthritis of the second and third tarsometatarsal joints and incongruity of the first tarsometatarsal joint on patients with hallux valgus.	Mod Rheumatol. 2024 Feb; 35:410-413	Original Article
144	Idei Kouichi, Ryu K, Miura S, et al.	整形外科	Four-year treatment continuation rates of osteoporosis drugs with different dosing intervals throughout Japan	Geriatr Gerontol Int. 2023 Sep; 23:665-670	Original Article
145	Ikegami Akira, Oka Y, Yamazoe S, et al.	整形外科	Long-term survival after femoral anterior rotational osteotomy for late-onset Legg-Calvé-Perthes disease: A case report with 27-year follow-up	J Orthop Case Rep. 2023 Jul; 13: 14-19	Case report
146	Inoue Atsuo, Arai Y, Nakagawa S, et al.	整形外科	The clinical results of bi-cruciate vs posterior stabilized total knee arthroplasty for flexion contracture in osteoarthritic knee	J Orthop Surg. 2023 Sep- Dec (オンライン)	Original Article
147	Kamada Youichiro, Arai Y, Toyama S, et al.	整形外科	Hypoxia with or without treadmill exercises affects slow-twitch muscle atrophy and joint destruction in a rat model of rheumatoid arthritis	Int J Mol Sci. 2023 Jun; 24: 9761	Original Article
148	Kamitani Aguri, Hara K, Fujii Y, et al.	整形外科	Landing posture in elite female athletes during a drop vertical jump before and after a high-intensity ergometer fatigue protocol: A study of 20 Japanese women's soccer league players	Orthop J Sports Med. 2023 Jun (オンライン)	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
149	Katsuyama Yusei, Okuda Y, Kanamura H, et al.	整形外科	Surgical versus conservative treatment of greater trochanteric fractures with occult intertrochanteric fractures: Retrospective cohort study	Injury. 2023 Nov;54: 111055	Original Article
150	Katsuyama Yusei, Okuda Y, Kanamura H, et al.	整形外科	Management of adult atlantoaxial rotatory fixation: Case series with literature review	Iowa Orthop J. 2023 Dec; 43: 96-105	Original Article
151	Kido Masamitsu, Ikoma K, Kobayashi Y, et al.	整形外科	The inter-prefectural regional disparity of healthcare resources and representative surgical procedures in orthopaedics and general surgery: a nationwide study in Japan during 2015-2019.	BMC Musculoskelet Disord. 2023 Sep; 24: 726	Original Article
152	Kido Masamitsu, Ikoma K, Kobayashi Y, et al.	整形外科	Trends and age- and sex-stratified analysis of hallux valgus correction surgery from 2014 to 2019: A nationwide population-based cohort study in Japan.	Foot Ankle Surg. 2023 Dec; 29: 584-587	Original Article
153	Komaki Shintaro, Nakagawa S, Arai Y, et al.	整形外科	Cartilage degeneration of patellofemoral joint occurs in open wedge high tibial osteotomy, rather than in hybrid closed wedge high tibial osteotomy, during the early postoperative period: A qualitative analysis using MRI T2 mapping	J Orthop Surg. 2023 Jan-Apr (オンライン)	Original Article
154	Morisaki Shinsuke, Kobayashi Y, Tsuchida S, et al.	整形外科	Acute compartment syndrome caused by hematoma with minor trauma in hemodialysis patients: Two case reports	Int J Surg Case Rep. 2023 Aug; 109: 108594	Case report
155	Morisaki Shinsuke, Tsuchida S, Oda R, et al.	整形外科	Quantitative analysis of ultrasonography for de Quervain's disease: Comparison of the affected side with the asymptomatic side	J Ultrasound Med. 2023 Jul; 42: 1437-1443	Original Article
156	Morisaki Shinsuke, Yoshii K, Tsuchida S, et al.	脳神経外科	The role of preoperative glycemic control in decreasing surgical site infections in lower extremity fractures	J Orthop Surg Res. 2023 Sep; 18: 700	Original Article
157	Morisaki Shinsuke, Yoshii K, Tsuchida S, et al.	整形外科	Factors associated with maintaining walking ability postoperation for hip fractures and the predictive value of the CGA7 score for postoperative walking ability	Geriatr Gerontol Int. 2023 Nov; 23: 830-835	Original Article
158	Oka Yoshinobu, Kim WC, Yoshida T, et al.	整形外科	Indication for Achilles Tenotomy in Congenital Clubfoot: Effectiveness of Using the Tibio-Plantar Fascia Angle as a Radiographic Parameter.	J Foot Ankle Surg. 2023 Sep-Oct; 62: 820-824	Original Article
159	Atsumi Satoru, Hara K, Arai Y, et al.	整形外科	Posteromedial portal technique with bone-patellar tendon-bone graft for inside-out revision of anterior cruciate ligament reconstruction	Arthrosc Tech. 2023 Sep; 12: e1789-1796	Original Article
160	Shimomura Seiji, Shirai T, Terauchi R, et al.	整形外科	Pleomorphic liposarcoma of the extremity with solitary huge liver metastasis at initial diagnosis treated with conversion surgery combined with adjuvant chemotherapy: A case report	J Med Case Rep. 2023 Nov; 17: 484	Case report
161	Shirai Toshiharu, Tsuchiya H, Terauchi R, et al.	整形外科	Iodine-supported implants in prevention and treatment of surgical site infections for compromised hosts: A prospective study	J Orthop Surg Res. 2023 May; 18: 388	Original Article
162	Takeshima Minoru, Morihara T, Furukawa R, et al.	整形外科	Efficacy of biceps-radial-slice magnetic resonance images for the diagnosis of biceps and pulley lesions	J Shoulder Elbow Surg. 2023 Dec; 32: 2436-2444	Original Article
163	Tahara Nanami, Ito F, Kawamata M, et al.	産婦人科	Dienogest does not augment the gene expression of adhesion molecules, MCP-1, and monocyte adherence in human endothelial cells.	Gynecological Endocrinology 2023 Oct, 40; 1: 2270621	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
164	Shimura Koki, Tarumi Y, Fujii M, et al.	産婦人科	Low-Nutrient Environment-Induced Changes in Inflammation, Cell Proliferation, and PGC-1 α Expression in Stromal Cells with Ovarian Endometriosis.	Reproductive Sciences 2023 Apr, 30; 1094-1102	Original Article
165	Yamauchi Saiko, Kokabu T, Kataoka H, et al.	産婦人科	Computed tomography, magnetic resonance imaging, and positron emission tomography/computed tomography findings for the diagnosis of malignant struma ovarii: A case report	Journal of Obstetrics and Gynaecology Research 2023 May, 49; 5: 1456- 1461	Case report
166	Minami Toshiyuki, Tsuzuki Y, Tanaka Y, et al.	産婦人科	The Tpl2-MEK pathway plays a critical role in spheroid-cultured endometriotic stromal cells.	American Journal of Reproductive Immunology 2023 May, 89; 5: e13689	Original Article
167	Fujii Maya, Koshiba A, Ito F, et al.	産婦人科	Postoperative pregnancy outcomes following laparoscopic surgical management in women with stage III/IV endometriosis: A single-center follow-up study.	Gynecology and Minimally Invasive Therapy 2023 Jun, 12; 3: 153-160	Original Article
168	Izumi Yuko, Kataoka H, Koshiba A, et al.	産婦人科	Hepcidin as a key regulator of iron homeostasis triggers inflammatory features in the normal endometrium.	Free Radical Biology and Medicine 2023 Nov, 209; 191-201	Original Article
169	Ogawa Kanae, Khan K, Koshiba A, et al.	産婦人科	Association between tissue stress reaction and ACE2/TMPRSS2 expression in endometria of reproductive aged women before and during Covid-19 pandemic.	BMC Women's Health 2023 May, 23; 1: 229	Original Article
170	Ogawa Kanae, Khan K, Kuroboshi H, et al.	産婦人科	Is neonatal uterine bleeding responsible for early-onset endometriosis?	Reproductive Biology and Endocrinology 2023 Jun, 21:56	Original Article
171	Ogawa Kanae, Khan K, Kuroboshi H, et al.	産婦人科	Neonatal uterine bleeding: Risk factors and its association with endometriosis- related symptoms later in life.	European Journal of Obstetrics and Gynecology and Reproductive Biology, 2024 Feb, 293: 146-155	Original Article
172	Miyachi Mitsuru, Sugimoto Y, Sugitatsu Y, et al.	小児科	Entrectinib treatment induces a durable response against ARHGEF11::NTRK1 fusion gene-positive spinal cord diffuse pediatric-type high-grade glioma.	Pediatric Blood Cancer.70(10):e30513, Oct, 2023. オンライン	Case report
173	Suematsu Masaya, Yagyu S, Yoshida H, et al.	小児科	Targeting FLT3-specific chimeric antigen receptor T cells for acute lymphoblastic leukemia with KMT2A rearrangement.	Cancer Immunology, Immunotherapy. 72(4): 957-968, Apr, 2023.	Original Article
174	Shoji Chika, Kikuchi K, Yoshida H, et al.	小児科	In ovo chorioallantoic membrane assay as a xenograft model for pediatric rhabdomyosarcoma.	Oncology Reports. 49(4):76, Apr, 2023.	Original Article
175	Taura Yoshihiro, Tozawa T, Fujimoto T, et al.	小児科	Myosin Va, a novel interaction partner of STXBP1, is required to transport Syntaxin1A to the plasma membrane.	Neuroscience. 524:256- 268, Aug, 2023.	Original Article
176	Takai Akari, Masaaki Yamagishi, Kazuyuki Ikeda	小児科	Effectiveness of cardiac palliative surgery for trisomy 18 patients with increased pulmonary blood flow.	American Journal of Medical Genetics Part A. 191A: 2703-2710, Nov, 2023.	Original Article
177	Okamoto Kenji, Imamura T, Tanaka S, et al.	小児科	The Nup98::Nsd1 fusion gene induces CD123 expression in 32D cells.	International Journal of Hematology. 118(2):277- 287, Aug, 2023.	Original Article
178	Kawai Youko, Kita Y, Nishikawa K.	小児科	Successful coil embolisation of tortuous portosystemic venous shunts using a steerable microcatheter in a patient with polysplenia after a Fontan-type operation.	Cardiology in the Young. 33(9):1781-1783, Sep, 2023.	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
179	Taura Yoshihiro, Tozawa T, Isoda K, et al.	小児科	Leigh-like syndrome with progressive cerebellar atrophy caused by novel HIBCH variants.	Human Genome Variation. 10(1):23, Aug, 2023.	Case report
180	Matsuura Amane, Kajiyama Y, Iehara T.	小児科	Polymer Coating Embolism: Cause of Left Pulmonary Artery Stenosis in an Infant.	Annals of Internal Medicine: Clinical Cases 2(9), Sep, 2023.	Case report
181	Yagyu Shigeki.	小児科	[Engineering memory-rich CAR-T cells by a piggyBac transposon system].	Rinsho Ketsueki. 64(5):418-426, Nov, 2023.	Original Article
182	Kuwahara Yasumichi, Iehara T, Matsumoto A, et al.	小児科	Recent insights into the SWI/SNF complex and the molecular mechanism of hSNF5 deficiency in rhabdoid tumors.	Cancer Medine. 12(15):16323-16336, Aug, 2023.	Review
183	Takada Rei, Tozawa T, Yamanaka T, et al.	小児科	Bilateral choroid plexus resection in a 9p hexasomy/tetrasomy mosaic patient.	Human Genome Variation. 26;11(1):9, Feb, 2024.	Case report
184	Imai Tomohiko, Sakamoto K, Hasegawa T, et al.	小児科	Cerebellar peduncle damage in Langerhans cell histiocytosis-associated neurodegenerative disease revealed by diffusion tensor imaging.	Neuroradiology. 66(1):43-54, Jan, 2024.	Original Article
185	Iguchi M, Yagyu S, Kambe K	小児外科	Development of anti-GD2 Antibody-producing Mesenchymal Stem Cells as Cellular Immunotherapy	Anticancer Research, Jun;43(6):2417-2424, 2023	Original Article
186	Kusada N, Yokoi N, Kato H, et al.	眼科	Evaluation of Dry Eye With Videokeratographer Using a Newly Developed Indicator.	Am J Ophthalmol. 252: 135-146, 2023 Aug	Original Article
187	Matsumoto K, Ueta M, Inatomi T, et al.	眼科	Betamethasone Treatment of Stevens-Johnson Syndrome and Toxic Epidermal Necrolysis with Ocular Involvement in the Acute Phase.	Am J Ophthalmol. 253: 142-151, 2023 Sep	Original Article
188	Kitazawa K, Matsumoto A, Numa K, et al.	眼科	Gene expression signatures of human senescent corneal and conjunctival epithelial cells.	Aging (Albany NY). 15(18): 9238-9249, 2023 Sep	Original Article
189	Kitazawa K, Numa K, Patel SK, et al.	眼科	Cellular senescence exacerbates features of aging in the eyes.	Aging Biology. 1: 1-14, 2023 Sep	Original Article
190	Komai S, Ueta M, Nishigaki H, et al.	眼科	Differences in gene regulation by TLR3 and IPS-1 signaling in murine corneal epithelial cells.	Sci Rep. 13(1): 7925, 2023 May	Original Article
191	Mukai R, Kataoka K, Tanaka K, et al.	眼科	Three-month outcomes of faricimab loading therapy for wet age-related macular degeneration in Japan.	Sci Rep. 13(1): 8747, 2023 May	Original Article
192	Ueta M, Inoue C, Nakata M, et al.	眼科	Severe ocular complications of SJS/TEN and associations among pre-onset, acute, and chronic factors: a report from the international ophthalmology collaborative group.	Front Med (Lausanne). 10: 1189140, 2023 Jun	Original Article
193	Kusada N, Yokoi N, Sotozono C.	眼科	Association between Corneal Higher-Order Aberrations Evaluated with a Videokeratographer and Corneal Surface Abnormalities in Dry Eye.	Diagnostics (Basel). 13(21): 3319, 2023 Oct	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
194	Yokoi N, Furusawa Y, Kato H, et al.	眼科	Characteristics of Pre-Lens Tear Film Behavior in Eyes Wearing Delefilcon A Silicone Hydrogel Water Gradient Contact Lenses.	Diagnostics (Basel). 13(24): 3642, 2023 Dec	Original Article
195	Fukuoka H, Yokoi N, Sotozono C.	眼科	Immunohistochemistry in an Adult Case of Bitot's Spots Caused by Vitamin A Deficiency.	Diagnostics (Basel). 13(24): 3676, 2023 Dec	Original Article
196	Kato H, Yokoi N, Watanabe A, et al.	眼科	Effect of punctal occlusion on blinks in eyes with severe aqueous deficient dry eye.	Diagnostics (Basel). 14(1): 3, 2023 Dec	Original Article
197	Yoshikawa Y, Yokoi N, Kusada N, et al.	眼科	Eye Pain Caused by Epithelial Damage in the Central Cornea in Aqueous-Deficient Dry Eye.	Diagnostics (Basel). 14(1): 30, 2023 Dec	Original Article
198	Yokoi N, Kusada N, Kato H, et al.	眼科	Dry Eye Subtype Classification Using Videokeratography and Deep Learning.	Diagnostics (Basel). 14(1): 52, 2023 Dec	Original Article
199	Komuro A, Yokoi N, Sotozono C, et al.	眼科	Effectiveness of Single-Dose Oral Pilocarpine Administration in Patients with Sjögren's Syndrome.	Diagnostics (Basel). 14(1): 91, 2023 Dec	Original Article
200	Kataoka K, Itagaki K, Hashiya N, et al.	眼科	Six-month outcomes of switching from aflibercept to faricimab in refractory cases of neovascular age-related macular degeneration.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 262(1): 43-51, 2024 Jan	Original Article
201	Aichi T, Terao N, Imanaga N, et al.	眼科	Scleral Thickness in The Fellow eyes of Patients With Central Serous Chorioretinopathy.	Retina. 43(9): 1573-1578, 2023 Sep	Original Article
202	Hieda O, Hiraoka T, Fujikado T, et al.	眼科	Assessment of myopic rebound effect after discontinuation of treatment with 0.01% atropine eye drops in Japanese school-age children.	Jpn J Ophthalmol. 67(5): 602-611, 2023 Sep	Original Article
203	Okazaki Y, Iwabuchi M, Yokoi N.	眼科	Diurnal variation in tear film lipid layer using smartphone-based interferometry.	Advanced Biomedical Engineering. 12: 163-170, 2023 Dec	Original Article
204	Yoshikawa Y, Ueta M, Kinoshita S, et al.	眼科	Long-Term Benefits of Tear Exchangeable Limbal-Rigid Contact Lens Wear Therapy in Stevens-Johnson Syndrome Cases.	Eye Contact Lens. 49(6): 247-253, 2023 Jun	Original Article
205	Hamuro J, Yamashita T, Otsuki Y, et al.	眼科	Spatiotemporal Coordination of RPE Cell Quality by Extracellular Vesicle miR-494-3p Via Competitive Interplays With SIRT3 or PTEN.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 64(5): 9, 2023 May	Original Article
206	Sato T, Yamanaka Y, Ueno M, et al.	眼科	Extra Eyelid-Derived Muscle Stem Cells.	Methods Mol Biol. 2640: 13-19, 2023 Apr	Original Article
207	Deguchi H, Tanioka H, Watanabe M, et al.	眼科	Identification and Analysis of Primary Cilia in the Corneal Endothelial Cells of Patients with Bullous Keratopathy.	Curr Eye Res. 49(1):10-15, 2024 Jan	Original Article
208	Sonomura Y, Yokoi N, Komuro A, et al.	眼科	The Features and Treatment Effects on Keratoepitheliopathy for Meibomitis-Related Keratoconjunctivitis.	Diagnostics (Basel). 2024 14(5):487 Feb	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
209	Matsumoto A, Fukuoka H, Yoneda A, et al.	眼科	A Ocular cicatricial pemphigoid following Dipeptidyl Peptidase-4 inhibitor use: A case report.	Am J Ophthalmol Case Rep. 32: 101957, 2023 Nov	Case report
210	Fukuoka H, Yokoi N, Komori A, et al.	眼科	Dematiaceous fungal keratitis caused by Cladophialophora boppii – A case report.	Am J Ophthalmol Case Rep. 33:102006, 2024 Feb	Case report
211	Tanaka H, Kojima K, Miyatani T, et al.	眼科	A new surgical approach for the treatment of a refractory foveal microaneurysm: A case report.	Am J Ophthalmol Case Rep. 34:102034, 2024 Mar	Case report
212	Fukui A, Tanaka H, Terao N, et al.	眼科	Reply to Marino et al. Does Subretinal Fluid Influence Choroidal Thickness (ChT) and Structure in Preeclampsia with Serous Retinal Detachment? Comment on "Fukui et al. Changes in Choroidal Thickness and Structure in Preeclampsia with Serous Retinal Detach.	J Clin Med. 12(9): 3274, 2023 May	Letter
213	Katoh Norito, Ikeda M, Ohya Y, et al.	皮膚科	Safety and Efficacy of Upadacitinib for Atopic Dermatitis in Japan: Analysis of the 3-Year Phase 3 Rising Up Study.	Dermatology and therapy 14(1);213–232, 2024 Jan	Original Article
214	Tamagawa–Mineoka Risa	皮膚科	Toll-like receptors: their roles in pathomechanisms of atopic dermatitis.	Frontiers in Immunology 5:14;1239244, 2023 Sep	Review
215	Maruyama Ayano, Tamagawa–Mineoka R, Ueki S, et al.	皮膚科	Anaphylaxis associated with eosinophilic sialodochitis via periostin upregulation and mast cell activation.	Allergology International 72(2);354–356, 2023 Apr	Letter
216	Ishikawa Tomomu, Asai J, Katoh N	皮膚科	Exacerbation of inflammatory disseminated superficial porokeratosis following COVID-19 vaccination.	JEADV Clinical Practice 2(4);944–946, 2023 Dec	Case report
217	Yuichi Nakamura	泌尿器科	Novel device for dividing core needle biopsy specimens to provide paired mirror image—like tissues for genetic and pathological tests	Scientific Reports.2023 Apr;13(1)	Original Article
218	Mineyuki Kato	泌尿器科	A big data—based prediction model for prostate cancer incidence in Japanese men	Scientific Reports.2023 Apr;13(1)	Original Article
219	Masayoshi Okumi	泌尿器科	Long—term prolonged—release tacrolimus outcomes in living donor kidney transplantation: The Japan Academic Consortium of Kidney Transplantation study—II	International Journal of Urology.2023 May;30 (5)	Original Article
220	Shinya Miyazaki	泌尿器科	Syphilitic orchitis with long—term imaging follow—up and conservative treatment	Urology Case Reports.2023 May;49	Case report
221	Masatomo Kaneko	泌尿器科	Transperineal magnetic resonance imaging /transrectal ultrasonography fusion prostate biopsy under local anaesthesia: the 'double—freehand'technique	BJU International.2023 May;131(6)	Original Article
222	Masatomo Kaneko	泌尿器科	Transperineal MRI/TRUS Fusion Prostate Biopsy under Local Anesthesia: The Double—Freehand Technique	BJU International.2023 May;131(6)	Original Article
223	Tsuyoshi Iwata	泌尿器科	Intraoperative ultrasonography in laparoscopic off—clamp partial nephrectomy for renal cell carcinoma adjacent to multiple renal cysts:a case report	Journal of Medical Ultrasonics(2001).2023 Jul;50(3)	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
224	Yumiko Saito	泌尿器科	Identification of c-Met as a novel target of γ -glutamylcyclotransferase	Scientific Reports.2023 Jul;13(1)	Original Article
225	Masatomo Kaneko	泌尿器科	Transperineal vs transrectal magnetic resonance and ultrasound image fusion prostate biopsy: a pair-matched comparison	Scientific Reports.2023 Aug;13(1)	Original Article
226	Jun Ajiki	泌尿器科	Assessment of lower urinary tract function in pediatrics using ultrasonography	Journal of Medical Ultrasonics(2001).2023 Sep;49 (オンライン)	Original Article
227	Jun Ajiki	泌尿器科	Factors affecting testicular volume after orchiopexy for undescended testes	Journal of Medical Ultrasonics(2001).2023 Oct;50(4)	Original Article
228	Yuta Inoue	泌尿器科	Treatment impact of newly approved therapeutic agents for metastatic urothelial carcinoma in Japan: a single-center retrospective study	Scientific Reports.2023 Oct;13(1)	Original Article
229	Tsukasa Narukawa	泌尿器科	Increasing rectum-prostate distance using a hydrogel spacer to reduce radiation exposure during proton beam therapy for prostate cancer	Scientific Reports.2023 Nov;13(1)	Original Article
230	Hideto Taga	泌尿器科	TGF- β inhibitor treatment of H ₂ O ₂ -induced cystitis models provides biochemical mechanism for elucidating interstitial cystitis/painful bladder syndrome patients	PLoS One.2023 Nov;18 (11)	Original Article
231	Ryota Ogura	泌尿器科	Screening for a practical method to monitor the status of patients with metastatic bladder cancer at the circulating cell-gene level	Scientific Reports.2023 Nov;13(1)	Original Article
232	Ryota Ogura	泌尿器科	Author Correction: Screening for a practical method to monitor the status of patients with metastatic bladder cancer at the circulating cell-gene level	Scientific Reports.2023 Dec;13(1)	Original Article
233	Takashi Ueda	泌尿器科	Apalutamide versus bicalutamide in combination with androgen deprivation therapy for metastatic hormone sensitive prostate cancer	Scientific Reports.2024 Jan;14(1)	Original Article
234	Osamu Ukimura	泌尿器科	Editorial Comment on Does intensity-modulated radiation therapy by helical tomotherapy for prostate cancer increase the subsequent risk of bladder cancer? A propensity score-matched analysis	International Journal of Urology.2024 Jan;31 (4)	Letter
235	Kaneko M, Sugiyama Y, Fuse S, Mukudai S, Hirano S.	耳鼻咽喉科	Physiological Effects of Voice Therapy for Aged Vocal Fold Atrophy Revealed by EMG Study. J Voice.	J Voice. 2024 Mar;38(2):376-383.	Original Article
236	Hirano S, Inufusa H, You F.	耳鼻咽喉科	The Effect of Oxidative Stress on the Human Voice.	Int J Mol Sci. 2024 Feb 23;25(5):2604	Original Article
237	Kaneko M, Sugiyama Y, Munekawa R, Kinoshita S, Mukudai S, Umezaki T, Dutschmann M, Hirano S.	耳鼻咽喉科	Sustained Effects of Capsaicin Infusion into the Oropharynx on Swallowing in Perfused Rats.	Laryngoscope. 2024 Jan;134(1):305-314.	Original Article
238	Hashimoto K, Kaneko M, Kinoshita S, Ozawa S, Mukudai S, Sugiyama Y, Hirano S.	耳鼻咽喉科	Effects of Repeated Intracordal Glucocorticoid Injection on the Histology and Gene Expression of Rat Vocal Folds.	J Voice. 2023 Nov;37(6):822-828.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
239	Matsushita H, Mukudai S, Ozawa S, Kinoshita S, Hashimoto K, Kaneko M, Sugiyama Y, Branski RC, Hirano S.	耳鼻咽喉科	Tamoxifen Alters TGF- β 1/Smad Signaling in Vocal Fold Injury.	Laryngoscope. 2023 Sep;133(9):2248-2254.	Original Article
240	Nakamura T, Sakaguchi H, Mohri H, Ninoyu Y, Goto A, Yamaguchi T, Hishikawa Y, Matsuda M, Saito N, Ueyama T.	耳鼻咽喉科	Dispensable role of Rac1 and Rac3 after cochlear hair cell specification.	J Mol Med (Berl). 2023 Jul;101(7):843-854.	Original Article
241	Imai Ayu, Matuoka T, Narumoto J.	精神科・心療内科	Emotional Dysregulation in Mild Behavioral Impairment Is Associated with Reduced Cortical Thickness in the Right Supramarginal Gyrus	J Alzheimers Dis . 2023 Apr 04;93(2):521- 532.	Original Article
242	Matsumoto Yoshihiro, Ayani N, Oya N, et al.	精神科・心療内科	Frequency and Predictors of Perioperative Psychiatric Symptom Worsening in Patients with Schizophrenia Spectrum Disorders.	Gen Hosp Psychiatry. 2023 Sep 30;87:148-150.	Letter
243	Iida Naoko, Ono J, Mizuhara Y, et al.	精神科・心療内科	The subjective assessment of work and social adjustment impairments and associated psychopathologies in Japanese adult female patients with anorexia nervosa	PCN Reports. 2023 Nov 06; 2(4): e151	Original Article
244	Yoshii Takanobu, Oishi N, Sotozono Y, et al.	精神科・心療内科	Validation ofWistar-Kyoto rats kept in solitary housing as an animal model for depression using voxel-based morphometry	Sci Rep. 2024 Feb 13;14(1):3601.	Original Article
245	Tsuji Yusuke, Miura H, Hirota T, et al.	放射線科	Transarterial ethiodised oil marking before CT-guided renal cryoablation: evaluation of tumour visibility in various renal cell carcinoma subtypes	Clinical Radiology. 2023 Apr;78(4):279-285.	Original Article
246	Yamazaki Hideya, Kimoto T, Teramukai S, et al.	放射線科	Particle beam therapy versus photon radiotherapy for extrahepatic biliary cancer-systemic review and meta-analysis	Journal of Radiation Research. 2023 Jun 16;64(Supplement_1):i34- i40.	Original Article
247	Aibe Norihiro, Ogino H, Wakatsuki M, et al.	放射線科	Comprehensive analysis of Japanese nationwide cohort data of particle beam therapy for pulmonary, liver, and lymph node oligometastases: Particle beam therapy versus high-precision X-ray radiotherapy	Journal of Radiation Research. 2023 Jun 16;64(Supplement_1):i69- i83.	Original Article
248	Takenaka Tadashi, Yamazaki H, Suzuki G, et al.	放射線科	Initial tumor volume as an important predictor for indication of intra-cavitary brachytherapy, intra- cavitary/interstitial brachytherapy, and multi- catheter sole interstitial brachytherapy in cervical cancer patients treated with chemoradiotherapy.	Journal of Contemporary Brachytherapy. 2023 Jun;15(3):191-197.	Original Article
249	Watanabe Shou, Yamazaki H, Kimoto T, et al.	放射線科	Potential benefit of dose-escalated stereotactic body radiation therapy using CyberKnife for early-stage primary lung cancer	Asia-Pacific Journal of Clinical Oncology. 2023 Jun;19(3):320-326.	Original Article
250	Yamada Kei.	放射線科	Editorial for "Probing Evidence of Cerebral White Matter Microstructural Disruptions in Ischemic Heart Disease Before and Following Cardiac Rehabilitation: A Diffusion Tensor MR Imaging Study"	Journal of Magnetic Resonance Imaging. 2023 Aug;59(6):2150-2151.	Others
251	Nakai Yoshitomo, Miyazaki O, Kitamura M, et al.	放射線科	Evaluation of radiation dose reduction in head CT using the half-dose method	Japanese Journal of Radiology. 2023 Aug;41(8):872-881.	Original Article
252	Sakai Koji, Ohara Y, Takahashi T, et al.	放射線科	A method for estimating the number of diseases in an image database: Utilization of predicates and application to a CT database	Advances in Networked- based Information Systems.2023 Sep:197- 205	Others
253	Yamada Kei.	放射線科	What Has Caused the Shortage of Radiologists? Features Exclusive to Japan	Korean Journal of Radiology. 2023 Oct;24(10):933-935.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
254	Goto Mariko, Sakai K, Toyama Y, et al.	放射線科	Use of a deep learning algorithm for non-mass enhancement on breast MRI: comparison with radiologists' interpretations at various levels	Japanese Journal of Radiology. 2023 Oct;41(10):1094-1103.	Original Article
255	Sato Osamu, Kotani T, Kanayama T, et al.	放射線科	Utility of hyperdense whirl sign for the diagnosis of gallbladder torsion	Acta Radiologica Open. 2023 Nov 29;12(11):20584601231218994. eCollection 2023 Nov.	Case report
256	Ogata Toshiaki, Aibe N, Kimoto T, et al.	放射線科	Comparative dosimetric study of spot-scanning proton therapy versus volumetric- modulated radiation therapy for extrahepatic bile duct cancer	Medical Dosimetry. 2024;49(1):46-49. Epub 2023 Nov 2.	Original Article
257	Yamazaki H, Suzuki G, Masui K, et al.	放射線科	Ultra-High Prostate-Specific Antigen Level: A Potential Very-High-Risk Factor for Localized High-Risk Prostate Cancer	Cancers (Basel). 2023 Nov 29;15(23):5644.	Original Article
258	Sasakura Yasuteru, Katsumori T, Nishizawa K, et al.	放射線科	Incidence and changes in endometrial-leiomyoma fistula following uterine artery embolization: a single-center retrospective analysis	European radiology.2023 Nov;33(11):8157-8164.	Original Article
259	Kitaguchi Tomoaki, Ota Y, Liao E, et al.	放射線科	The role of MRI in the prognosis of Wernicke's encephalopathy	Journal of Neuroimaging. 2023 Nov-Dec;33(6):917-925.	Original Article
260	Hayakawa Katsumi, Tanda K, Nishimoto M, et al.	放射線科	Apparent diffusion coefficient values can predict neuromotor outcome in term neonates with hypoxic-ischaemic encephalopathy	Acta Paediatrica. 2024 Feb;113(2):191-198.	Original Article
261	Watanabe Keita, Jigar J, Yoshimura R, et al.	放射線科	Editorial: Recent Developments in Neuroimaging in Mood Disorders	Frontiers in Psychiatry. 2024 Feb; 15: 1371347.(オンライン)	Others
262	Yamazaki H, Suzuki G, Aibe N, et al.	放射線科	Re-irradiation for isolated neck recurrence in head and neck tumor: impact of rN category	Scientific Reports. 2024 Feb 7;14(1):3107.	Original Article
263	Maehara Yousuke, Hayashi N, Hirota T, et al.	放射線科	Hydrodissection During Computed Tomography-Guided Cryoablation for Renal Tumors: Where is the Effective Fluid Accumulation Space in the Retroperitoneum?	Cardiovasc Intervent Radiol. 2024 Mar;47(3):337-345.	Original Article
264	Yoshino Yuki, Suzuki G, Shiom H, et al.	放射線科	Albumin-bilirubin score is a useful predictor of worsening liver reserve after stereotactic body radiation therapy in elderly Japanese patients with hepatocellular carcinoma	Journal of Radiation Research, 2024 Mar; 65(2): 244-250.	Original Article
265	Yamazaki H, Suzuki G, Aibe N, et al.	放射線科	In Regard to Kodaira et al	International Journal of Radiation Oncology - Biology - Physics. 2024 Mar 1;118(3):864-865.	Letter
266	Yamakita Shunsuke, Fujita D, Sudo K, et al.	麻酔科	Activation of neurons and satellite glial cells in the DRG produces morphine-induced hyperalgesia.	Molecular Pain 2023 May; 19; 1-16	Original Article
267	Yamada Tomomi, Obata Y, Sudo K, et al.	麻酔科	Changes in EEG frequency characteristics during sevoflurane general anesthesia: feature extraction by variational mode decomposition.	J Clin Monit Comput 2023 Jul; 37(5):1179-1192	Original Article
268	Inoue Keita, Kinoshita M, Muranishi K, et al.	麻酔科	Effect of a Novel Trivalent Vaccine Formulation against Acute Lung Injury Caused by Pseudomonas aeruginosa.	Vaccines 2023 Jun; 11;11(6):1088	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
269	Sudo Kazuki, Sawa T, Kushimoto K, et al.	麻酔科	Choice of respiratory therapy for COVID-19 patients with acute hypoxemic respiratory failure: a retrospective case series study.	PeerJ 2023 Apr; 10;11:e15174	Original Article
270	Yoshii Ryogo, Takahashi Y, Sawa T, et al.	麻酔科	Long Duration of Action of Tranexamic Acid After Cardiac Surgery in a Hemodialysis Patient: A Case Report.	A & A Practice 2023 May; 17(5):p e01676	Case report
271	Amino Hiroaki, Kinoshita M, Shibasaki M.	麻酔科	Epicardial pacing lead implantation for congenital complete atrioventricular block immediately after birth: a case report.	Journal of medical case reports 2023 Nov; 17(1) 453-453	Case report
272	Haraguchi Natsuho, Naito Y, Shibasaki M, et al.	麻酔科	Tracheal injury diagnosed by a sudden increase in end-tidal carbon dioxide levels during mediastinoscopic subtotal esophagectomy: a case report.	JA Clin Rep 2024 Feb; 13;10(1):11	Case report
273	Rina Oya	疼痛・緩和ケア科	Prevalence of preoperative opioid usage and its impact on postoperative outcomes: a retrospective cohort study	Journal of Anesthesia Volume37, page 532-538 (2023年 5月)	Original Article
274	Hishikawa N, Sawada K, Shono S, et al.	リハビリテーション科	Accurate diagnosis of sarcopenia without using a body composition analyzer in a convalescent rehabilitation ward.	Jpn J Compr Rehabil Sci, 2023 July, 14, 26-32	Original Article
275	Hishikawa N, Toyama S, Shimahara N, et al.	リハビリテーション科	A home-based low-intensity resistance exercise programme with supervision for secondary sarcopenia in a patient with established rheumatoid arthritis: A case report.	Mod Rheumatol Case Rep. 2023 Jun 19;7(2):354-358	Case report
276	Miyamoto Yuki, Ohbe H, Yasunaga H.	救急医療科	The Consideration of Cyclosporine in the Treatment of Stevens-Johnson Syndrome-Reply.	JAMA Dermatol. 2023 Dec;160(1):117-118.	Original Article
277	Miyamoto Yuki, Matsumura Y, Sumiyoshi S, et al.	救急医療科	Hospital-at-home care for immunodeficient patients with COVID-19: Approach to persistent COVID-19 infection.	Clin Case Rep. 2023 May;11(5):e7294.	Original Article
278	Nakajima Satoshi, Matsuyama T, Okada N, et al.	救急医療科	Targeted temperature management on outcome of older adult patients after out-of-hospital cardiac arrest.	Am J Emerg Med. 2023 Apr;66:61-66.	Original Article
279	Shiozumi Tadaharu, Okada N, Matsuyama T, et al.	救急医療科	Anti-Muscle-Specific Kinase (MuSK) Antibody-Positive Myasthenia Gravis Presenting With Dyspnea in an Elderly Woman: A Case Report.	Cureus. 2023 Dec 13;15(12):e50480.	Case report
280	Nakada Koki, Hirai D, Seta K, et al.	救急医療科	Nafamostat Mesylate for the Hypercoagulable State of SARS-CoV-2 With Renal Replacement Therapy: A Case Report.	Cureus. 2024 Jan 20;16(1):e52641.	Case report
281	Okumura Hisatoshi, Kawashima A, Hanamoto A.	救急医療科	Squawks as an important physical finding for differentiation of diffuse panbronchiolitis from asthma in children: A case report.	J Gen Fam Med. 2023 Jun 22;24(4):261-263.	Case report
282	Okumura Hisatoshi, Inaba S, Kawashima A.	救急医療科	Large Vessel Vasculitis with Chronic Cough.	Intern Med. 2023 Oct 1;62(19):2927.	Case report
283	Okumura Hisatoshi, Kawashima A.	救急医療科	Black hairy tongue due to antibiotics.	BMJ Case Rep. 2023 Jul 31;16(7):e255112.	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
284	Yoko Tanino, Nishioka K, Nakaya T	臨床検査部	Emergence of SARS-CoV-2 with Dual-Drug Resistant Mutations During a Long-Term Infection in a Kidney Transplant Recipient	Infection and Drug Resistance.17: 531-41, 2024 Feb 8	Original Article
285	Ono R, Kano M, Fujikawa Y, et al.	歯科	Elevated alveolar bone mineral density in female patients undergoing bisphosphonate therapy: A pilot cross-sectional study using intraoral radiographs.	Oral Science International. 2024 Jan	Original Article
286	Yamamoto Y, Yamamoto T, Miyamoto N, et al.	歯科	Oral function and the oral microbiome in the elderly in the Kyotango area.	Dentistry Journal. 2024 Jan 18; 12(1): 16	Original Article
287	Ono R, Katsumata A, Fujikawa Y, et al.	歯科	Sex differences and age-related changes in the mandibular alveolar bone mineral density using a computer-aided measurement system for intraoral radiography.	Scientific Reports. 2024 Mar 28; 14(1): 7386	Original Article

小計 4
計 287

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					
2					

計 0

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	☒ 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	☒ 有・無
・ 手順書の主な内容 学長の責務、研究者等の責務等、他機関への既存試料・情報の提供、倫理審査委員会の事務・審査記録の保存、研究により得られた結果等の取扱い、研究の信頼性確保、重篤な有害事象への対応、教育・研究、研究の概要の登録	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 10 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	☒ 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	☒ 有・無
・ 規定の主な内容 「京都府公立大学法人の利益相反の管理に関する規程」…利益相反の管理や判断基準等を規定 「京都府立医科大学利益相反委員会規程」…設置目的や組織編成等について規定 「京都府立医科大学臨床研究等に係る利益相反の管理に関する取扱規程」…臨床研究等における利益相反の管理について規定	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 12 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 12 回
・ 研修の主な内容 「事例をもとに研究不正防止を考える」 「研究倫理と研究公正を取り巻く課題—臨床研究の有益性向上を目指して—」 「臨床研究における安全性情報（有害事象・疾病等・副作用）とは」「モニタリング・監査」 「臨床研究における知的財産の役割」 「画一的なリサーチクエスションからの脱却と適切な研究デザインの選択」 「臨床研究データの品質管理・品質保証、データマネージャーは何を見ているか」 「研究デザインと統計解析の基礎知識（初・中級）」 「臨床研究を始める研究者に必要な「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」と「臨床研究法」の基礎知識」「A I と倫理——憲法学の視点から考える」	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科において、専門医・認定医取得のための高度な医療知識・スキルを習得させる。
(プログラムは各科ごとに作成)

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	233 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
松原 慎	総合診療科	助教	11年	
三宅 隼人	消化器内科	助教	13年	
中村 猛	循環器内科	准教授	28年	
桐田 雄平	腎臓内科	助教	15年	
森本 健司	呼吸器内科	助教	11年	
岡田 博史	内分泌・糖尿病・代謝内科	助教	19年	
水谷 信介	血液内科	講師(学内)	17年	
和田 誠	膠原病・リウマチ・アレルギー科	助教	25年	
田中 瑛次郎	脳神経内科	助教	17年	
塩崎 敦	消化器外科	講師	26年	
沼田 智	心臓血管外科	准教授	28年	
前田 吉宜	小児心臓血管外科	助教	23年	
下村 雅律	呼吸器外科	准教授	21年	
森田 翠	内分泌・乳腺外科	講師(学内)	15年	
昇 修治	移植・一般外科	講師	25年	
金 聖和	小児外科	助教	14年	
河原崎 彩子	形成外科	講師	21年	

研修統括者氏名	診 療 科	役 職 等	臨床経験年数	特記事項
丸山 大輔	脳神経外科	助 教	21年	
白井 寿治	整形外科	准教授	27年	
藁谷 深洋子	産婦人科	准教授	21年	
吉田 秀樹	小児科	助 教	19年	
鎌田 さや花	眼科	助 教	18年	
浅井 純	皮膚科	講 師	22年	
内藤 泰行	泌尿器科	講 師	30年	
辻川 敬祐	耳鼻咽喉科	講 師(学内)	19年	
中嶋 義幸	精神科・心療内科	助 教	12年	
高畑 暁子	放射線科	助 教	22年	
小川 寛	疼痛・緩和ケア科	講 師	19年	
沢田 光思郎	リハビリテーション科	准教授	20年	
森永 友紀子	病理診断科	助 教	28年	
山本 俊郎	歯科	講 師	28年	
大橋 鈴世	リハビリテーション部	講 師	27年	
志村 勇司	輸血・細胞医療部	部 長	17年	
千代延 友裕	遺伝子診療部	副部長	25年	
稲葉 亨	臨床検査部	部 長	38年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
R5. 4. 3-7 Versa HD 15 名（臨床工学部） R5. 4. 4 A6 NPPV 勉強会 9 名（臨床工学部） R5. 4. 4-12. 14 診療用放射線照射装置 9 名（臨床工学部） R5. 4. 7 ショックウェーブ導入説明会 9 名（臨床工学部） R5. 4. 17 Radixact X9 研修会 14 名（臨床工学部） R5. 4. 19 Masimo Root 多項目モニタ勉強会 22 名（臨床工学部） R5. 5. 1-31 ICU 人工呼吸器研修 3 名（臨床工学部） R5. 5. 15 緊急時対応訓練（第1回アナフィラキシーショックへの対応） 8 名（放射線技術課） R5. 5. 19 除細動器勉強会 3 名（臨床工学部） R5. 5. 23 CE 保育器勉強会 4 名（臨床工学部） R5. 5. 26 緊急時対応訓練（第2回アナフィラキシーショックへの対応） 8 名（放射線技術課） R5. 6. 1-30 ICU ペースメーカ研修 3 名（臨床工学部） R5. 6. 7 診療用放射線照射装置_防護措置について 30 名（臨床工学部） R5. 6. 9 RF ニードル説明会 3 名（臨床工学部） R5. 6. 27 人工呼吸器勉強会 8 名（臨床工学部） R5. 7. 1-31 ICU 除細動器研修 3 名（臨床工学部） R5. 7. 11 PICU 血液浄化療法勉強会 23 名（臨床工学部） R5. 7. 14 テルモ IVUS アップデート説明会 9 名（臨床工学部） R5. 7. 16 放射線技師対象 告示研修プログラム 48 人（看護部） R5. 7. 17 放射線技師対象 告示研修プログラム 47 人（看護部） R5. 8. 1-31 ICU 持続血液浄化研修 3 名（臨床工学部） R5. 8. 8 ERCP 勉強会 8 名（臨床工学部） R5. 8. 16 ECMO 緊急対応シミュレーション 11 名（臨床工学部） R5. 8. 30 ECMO 緊急対応シミュレーション 13 名（臨床工学部） R5. 9. 1 JET STREAM 導入説明会 9 名（臨床工学部） R5. 10. 2 Prisma Flex 説明会 14 名（臨床工学部） R5. 10. 11-24 看護部人工呼吸器研修 63 名（臨床工学部） R5. 10. 18 ECMO 緊急対応シミュレーション 5 名（臨床工学部） R5. 10. 19 診療用粒子線照射装置 10 名（臨床工学部） R5. 10. 25-30 Turbo Power 説明会 9 名（臨床工学部） R5. 11. 29 ECMO 緊急対応シミュレーション 6 名（臨床工学部） R5. 12. 8-28 NICU 保育器勉強会 4 名（臨床工学部） R6. 1. 7 放射線技師対象 告示研修プログラム 47 人（看護部） R6. 1. 8 放射線技師対象 告示研修プログラム 44 人（看護部）

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）		
R5. 4. 17	診療用高エネルギー放射線発生装置の安全使用に関する研修	7 名（放射線技術課）
R5. 6. 7	診療用放射線照射装置の安全使用に関する研修	18名（放射線技術課）
R5. 10. 19	診療用粒子線照射装置の安全使用に関する研修	6名（放射線技術課）
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況		
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数		

（注）1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

（注）2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
管理責任者氏名	病院長 佐和 貞治
管理担当者氏名	副局長（附属病院担当） 松本 浩成

		保 管 場 所		管 理 方 法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	診療情報管理室 病棟 調剤室 病院管理課	・カルテは電子カルテと紙カルテの2種類を管理及び保管。平成20年1月から電子カルテシステムを導入しており、それ以前の紙カルテ(手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の経過記録の要約等)は、診療情報管理室に保管。 ・処方箋は調剤室。 ※診療録を病院外に持ち出すことは「診療記録貸出・返却要領」で禁止している。	
		各科診療日誌			
		処方せん			
		手術記録			
		看護記録			
		検査所見記録			
		エックス線写真			
		紹介状			
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書			
		病院の管理及び運営に関する諸記録			
高度の医療の提供の実績	医療サービス課				
高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院管理課 情報・研究支援課				
高度の医療の研修の実績	病院管理課				
閲覧実績	病院管理課				
紹介患者に対する医療提供の実績	経理課				
掲げる事項	規則第一條の十一第一項に	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	経理課	・電子データ及び帳票類を各箇所で管理している。 ※院外への持ち出しは基本的に不可としている。	
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進部		
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進部		
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進部		
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進部		

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染対策部	・電子データ及び帳票類を各箇所で管理している。 ※院外への持ち出しは基本的に不可としている。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	臨床工学部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部 医療安全推進部	

		保 管 場 所	管 理 方 法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全推進部	・電子データ及び帳票類を各箇所管理している。 ※院外への持ち出しは基本的に不可としている。
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策部	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全推進部	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療情報管理室	
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全推進部	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療安全推進部	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療安全推進部	
		監査委員会の設置状況	医療安全推進部	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全推進部	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全推進部	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	法人本部総務室	
		職員研修の実施状況	総務課 医療安全推進部	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全推進部	
管理者が有する権限に関する状況	病院管理課			
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	法人本部総務室			
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	法人本部総務室			

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
閲覧責任者氏名	病院管理課長 山口 健司
閲覧担当者氏名	病院管理課 課長補佐兼総務調整係長 松本 文絵
閲覧の求めに応じる場所	病院管理課総務調整係
閲覧の手続の概要	
閲覧請求者の住所、氏名、請求記録名、閲覧理由を聴取した上で、請求のあった記録を所管する部署から該当資料を取り寄せ、病院管理課内で閲覧に供する。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数		延	0	件
閲 覧 者 別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
・ 指針の主な内容： ・ 医療事故を防止し、安全かつ適切な医療を提供する体制 ・ 安全管理のための基本的な考え方 ・ 安全管理のための組織 ・ 医療事故発生時の対応 ・ 医療事故及びインシデント報告制度 ・ 職員の教育・研修及び啓発 ・ 患者相談窓口 ・ 患者本位の医療の提供 ・ 診療行為に内在する危険防止のために必要な情報を患者に提供	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況 ・ 設置の有無 ((有)・無) ・ 開催状況：年 12 回 ・ 活動の主な内容： ・ 安全管理のための指針の策定及び変更 ・ 院内で発生した医療事故、インシデントの調査分析、再発防止策の立案・実施 ・ 安全管理のための教育・研修及び啓発の検討	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 6 回
・ 研修の内容 (すべて)： ・ 臨床倫理問題相談委員会の活動と利用法 ・ 当院における医療安全の概要2023 ・ 急変覚知における呼吸数と乳酸値重視の背景を知る ・ 医薬品安全管理セミナー 摂食嚥下機能低下に伴う服薬困難に対応するためのアルゴリズム～簡易懸濁法を中心に～ ・ 診療記録記載指針研修会 カルテ記載の注意ポイント～よくある質問にお答えします！～ ・ 患者・家族とのコミュニケーション～悪質なクレームへの対応～	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況 ・ 医療機関内における事故報告等の整備 ((有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ オカレンス報告の実施 ・ セーフティーマネージャーが参加する医療安全サポート会議での事例共有・検討、安全対策の検討 ・ 職員間での情報共有と注意喚起のためのインシデント事例等を掲載した「医療安全ファイル」の作成 供覧 ・ 医療安全推進部レターによる情報提供と注意喚起 ・ 急変対応ワーキングチームによるシステムの見直し、院内蘇生講習 ・ 医療安全のための院内ラウンドの実施	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容： ・ 院内感染対策に関する基本的な考え方 ・ 院内感染対策のための委員会その他の当該病院等の組織に関する基本的事項 ・ 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 ・ 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ・ 院内感染発生時の対応に関する基本方針 ・ 患者への情報提供と説明に関する基本方針 ・ 病院における院内感染対策の推進における基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
・ 活動の主な内容： ・ 感染症発生状況（対応状況も含む） ・ MRSA等耐性菌の発生状況報告（対応状況も含む） ・ 抗MRSA薬、抗緑膿菌活性を有する抗菌薬等の使用状況報告（適正使用に関する指導状況も含む） ・ 擦式手指消毒用アルコール製剤の使用状況報告 ・ 新型コロナウイルス感染症の流行状況と院内での対応の報告（対応状況も含む） ・ ICTニュース発行時の内容報告 ・ その他院内感染対策の推進に関する方策の検討	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年3回
・ 研修の内容（すべて）： ・ ①知っていますか薬剤耐性（e-learning研修・DVD貸出） ・ ②もう一度見直そう！COVID-19治療&抗菌薬の適正使用（e-learning研修・DVD貸出） ・ ③インフルエンザ（e-learning研修・DVD貸出）	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： ➤ 各所属に「感染対策推進員」を配置し、院内感染対策の推進や院内感染事例が疑われた際、感染対策部との連携を図り迅速な初動につなげている。 ➤ 看護部門は「リンクナース」を配置し、2か月に1回の定期的な会を開催し院内感染対策の推進を図っている。 ➤ 感染症情報やその対応について、院内主要会議でのアナウンスを行い、電子カルテシステムの掲示板の活用等の手段により随時周知徹底を図っている。 ➤ 新型コロナウイルス感染症の流行状況と院内対応に関する検討、そして対策として立案された内容を周知するために週に1回朝に関連部署代表らによる検討の場を設けている。また、その内容を院内へ周知するために週に1回、web会議として院内所属長に向けた連絡会を実施している。	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 7 回
○医薬品安全管理セミナー テーマ：簡易懸濁 対 象：全職員 方 法：mSafe (2023/9/1-9/30) /DVD <新規採用者対象> ○新規・中途採用者オリエンテーション テーマ：医薬品のオーダ上の留意点 対 象：医師・歯科医師 方 法：mSafe (2023/4/1-2024/3/31) ○新規採用者オリエンテーション テーマ：安全な薬剤管理について 対 象：研修医・歯科研修医・看護師・薬剤師・医療技術 方 法：対面 <薬剤師対象> ○新人薬剤師対象「医薬品の適正使用と適正管理」 開催日：2023/4/5-7 ○中途採用薬剤師対象「同上」 開催日：2023/6/5 <その他> ○病棟薬剤師による各病棟での学習会等 (2回) ○担当薬剤師による手術室新規配属医師への麻薬・筋弛緩薬の取扱い (11回)	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有)・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： 1) 業務手順書に基づく年2回の業務チェックと手順書の見直し ・係長以上で年2回、業務手順書の再点検をし、医療に関する安全管理対策会議に諮った上で手順書を改定 2) 医薬品安全管理に関する院内ラウンド ・係長以上で年1回、全部署を訪問。手順書に基づく業務の遂行、特に医薬品や鍵、注射シリンジ等の管理状況、救急カート薬や備品の安全な使用、口頭指示の適切な運用、薬剤部から発信している情報の共有状況、輸液ソフトバックを取り扱う際のピンホールの有無のチェック、PTPシートの誤飲対策等を確認	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば)： ハブリックス (A型肝炎ワクチン)、タイフィム (腸チフスワクチン)、 ベロラボ (狂犬病ワクチン)、プリオリックス (麻疹・風疹・ムンプスワクチン) ブーストリックス (破傷風・百日咳・ジフテリアワクチン) を渡航ワクチン外来で使用	

・ **その他の改善のための方策の主な内容：**

1) 未承認薬、適応外処方等の情報収集等

①医学倫理審査委員会、臨床倫理委員会での関わり

- ・ 未承認薬及び適応外処方の審査及び安全な投与に向けた介入

②薬剤部内・病棟内でのかかわり

- ・ 未承認薬の持込 → 入退院センター業務、病棟薬剤業務、DI業務の中で把握
- ・ 病棟での適応外使用 → 病棟薬剤業務の中で把握

2) 院内での医薬関連事故等の把握と対策

①医療に関する安全管理対策委員会、医療安全サポート会議での検討（各月1回）

②医薬品安全管理委員会での検討（月2回）

- ・ アクシデント事例、ヒヤリハット事例の共有と対策の立案
- ・ 未承認薬の処方状況の把握と共有

3) 薬剤部での通常の実行（主なもの）

①DIニュースの発行（月1回）

②緊急安全性情報・安全性速報、厚労省医薬品・医療機器等安全性情報の他、重要な通知に関する電子カルテへの掲示、院内配布

③重要な情報は患者を特定し処方医に文書で通知し、確認印の押されたものを薬剤部で回収

④粉碎・一包化の可否情報、麻薬Q&A等、薬剤部で加工した文書の電子カルテへの掲示

⑤向精神薬の重複処方・過剰処方のモニタリングと注意喚起

⑥注射薬ラベルへのルート・フィルター選択上の注意記載

⑦トレーシングレポートシステム、フォローアップシートの推進

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 28回
研修の主な内容：人工呼吸器の取り扱い、人工呼吸管理、補助循環、ペースメーカ、新規導入機器、血液浄化、汎用型医療機器（輸液ポンプ、シリンジポンプ、吸引器）、放射線機器、他	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
- 医療機器に係る計画の策定 (有・無) - 機器ごとの保守点検の主な内容：MEセンターによる年1-2回の定期点検、特定保守管理機器（生命維持管理装置関連）の臨床工学技士またはメーカー点検を前年度末に作成した点検計画に沿って実施	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
- 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) - 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： - その他の改善のための方策の主な内容： - 院内での医療機器に関する医療事故関連情報の把握：医療安全サポート会議(1回/月) - 医療に関する安全管理対策委員会への参加(1回/月) - 臨床工学部からの医療機器関連安全並びに取扱い方法に関する情報の発信：MEセンター通信の発行(4/年) - 患者への対応を必要とした事例に関しては医療安全推進部へオカレンスレポートを提出し、関連部署等と共有	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	(有)・無
・責任者の資格 (医師)・歯科医師) ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全担当の副病院長、医療に関する安全管理対策委員会の委員長として病院全体の安全に関わる事柄を統括し指示・指導を行っている。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (10名) ・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 医薬品情報室において、院内の医薬品の使用状況を月1回確認している。その結果を踏まえて、添付文書情報（禁忌等）、緊急安全性情報、未承認医薬品の使用時又は医薬品の適応外使用時の安全管理に係る情報を整理し、医薬品安全管理責任者に報告する。 緊急安全性情報、医薬品・医療機器等安全性情報、医薬品の回収情報など周知徹底の必要な情報は、既に電子媒体や紙媒体など複数の方法によって確実かつ速やかに提供している。 特に重要な情報については、処方患者を特定し処方医に注意文書を配布するとともに、処方医に関覧印を取った後、回収することによって、周知を徹底している。 ・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 ＊申請書、同意書の確認 ＊使用の妥当性に関する情報収集と事前審査 ＊使用後のモニタリング ・担当者の指名の有無 (有)・無) ・担当者の所属・職種： (所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師) (所属： ， 職種) (所属： ， 職種) (所属： ， 職種) (所属： ， 職種) (所属： ， 職種) (所属： ， 職種) (所属： ， 職種)	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	(有)・無

・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (☒ 有 ・ 無) ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容： 全身麻酔手術を実施する症例を中心に、説明同意書や診療録を確認し、定められた事項の遵守状況の点検を行い、必要時、指導を行っている。院内全体に周知が必要な内容は、医療安全研修の中で取り上げたり、臨床部長会、診療科長会議、合同師長会などで周知を行っている。	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	☒ 有 ・ 無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 「退院時要約」、「手術記録」、「入院診療計画書」、「継続看護記録」について作成の有無を確認するなど診療記録の量的点検に取り組んでいる。 また、「診療記録記載指針」を策定し、記載すべき項目や留意点を示して職員研修を実施するとともに、医師、看護師、コメディカルからなるWGにより診療記録の質的点検及び意見交換を行い、その結果を各所属にフィードバックすることで、診療記録の質的向上にも取り組んでいる。	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	☒ 有 ・ 無
・所属職員：専従（４）名、専任（１）名、兼任（１１）名 うち医師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（２）名 うち薬剤師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（２）名 うち看護師：専従（２）名、専任（ ）名、兼任（１）名 （注）報告書を提出する年度の１０月１日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： ・医療に関する安全管理対策委員会の運営 ・医療事故、インシデント、オカレンスに係る報告のとりまとめ、および病院長への報告 ・医療事故、インシデントの発生原因の調査、分析 ・安全対策の実施状況、医療事故発生時の対応状況に関する調査、確認、指導 ・安全管理のための教育、研修の実施 ・安全対策の推進 ・院内死亡事例の確認と病院長への報告 ・インフォームド・コンセント実施要綱に従った説明同意書の作成推進と要綱の遵守状況の点検 ・集中治療部門、手術部門、内視鏡・超音波部門、放射線部門、医療機器関連、薬剤部で一定の基準以上の事象が発生した事例の把握（オカレンス報告）、全身麻酔手術時の血栓予防策実施率、入院患者の転倒・転落発生率・心肺蘇生実施の把握・報告書管理評価対応状況などのモニタリングの実施 ※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。	

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（6 件）、及び許可件数（6 件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（☒有・無）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒有・無）
- ・ 活動の主な内容：高難度新規医療技術による医療を行う場合に、実施の適否等について審査及び承認を行うほか、当該医療を行う職員の遵守事項等の遵守状況を実施結果報告書により確認している。

高難度新規医療技術導入審査委員会 4 回開催

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（☒有・無）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（☒有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（22 件）、及び許可件数（22 件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（☒有・無）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒有・無）
- ・ 活動の主な内容：

未承認薬等を使用する医療を行う場合に、実施の適否等について審査及び承認を行うほか、当該医療を行う職員の遵守事項等の遵守状況を実施結果報告書により確認している。

臨床倫理承認委員会 15 回開催

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（☒有・無）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（☒有・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 245 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 100 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
 - ・ 発生した事例の調査分析、並びに再発防止策の立案及び実施

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（**有**）（病院名：山形大学医学部附属病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（**有**）（病院名：秋田大学医学部附属病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況

① インフォームド・コンセントを勤務時間内に実施できるようにすでに各診療科がそれぞれ取り組んでいるが、患者へのアナウンスは行っていないということなので、今後ご検討いただけるとよいと思う。

→（助言に対する実施状況）インフォームド・コンセントの勤務時間内実施について患者向けの掲示物を作成し各病棟、エレベーター等に掲示している。

② 医療安全研修の受講履歴の管理が一部紙媒体であり、業務上の負担になっているということなので、今後電子媒体による管理への変更をご検討いただけるとよいと思う。

→（助言に対する実施状況）一部の研修において DVD を貸し出し、アンケートを紙媒体で実施していたものがあったが、今年度から研修の受講及びアンケートの回答を WEB での実施とした。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

「患者相談等に関する要綱」に基づき、平成 15 年 4 月 1 日から「患者相談窓口」（医療サービス課所管）を設置し、MSW、専門相談員（事務職員）等が、平日の 8 時 45 分から 17 時まで対応している。

その際に、患者、家族等からの相談、要望、意見等を専門相談員・MSWがお聞きし、必要な場合は医療安全推進担当者等の各専門担当者に引き継ぐなど行い対応、支援することとしている。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

全職員を対象とした医療安全研修会として、特定機能病院における医療安全、医療安全にかかわる院内の取り決めや、安全な医療を行うために必要な知識、新たに開始となった院内迅速対応システム、診療記録に関する内容などについての研修を実施した。また、新採用者、研修医に対しては、インシデント・アクシデント報告の流れ、具体的事例の改善策についての研修を実施した。

研修内容

- ・研修医、新人看護職員対象「医療安全対策について」（集合）

- ・新採用医師、新採用医療技術職対象「特定機能病院における医療安全」（オンライン）
- ・臨床倫理問題相談委員会の活動と利用法（オンライン、DVD）
- ・当院における医療安全の概要 2023（オンライン、DVD）
- ・急変覚知における呼吸数と乳酸値重視の背景を知る（オンライン、DVD）
- ・医薬品安全管理セミナー 摂食嚥下機能低下に伴う服薬困難に対応するためのアルゴリズム～簡易懸濁法を中心に～（オンライン）
- ・診療記録記載指針研修会 カルテ記載の注意ポイント ～よくある質問にお答えします！～（オンライン、DVD）
- ・患者・家族とのコミュニケーション ～悪質なクレームへの対応～（オンライン、DVD）

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者：

日本医療機能評価機構 2023 年度特定機能病院管理者研修受講（2023/12/15）

医療安全管理責任者：

日本医療機能評価機構 2023 年度特定機能病院管理者研修受講（2023/11/20）

医薬品安全管理責任者：

日本医療機能評価機構 2023 年度特定機能病院管理者研修受講（2023/12/15）

医療機器安全管理責任者：

日本医療機能評価機構 2023 年度特定機能病院管理者研修受講（2023/11/20）

（注）前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

（公財）日本医療機能評価機構実施の病院機能評価を受審（受審区分：一般病院3）

※受審年月：令和 4 年 8 月

※認定期間：令和 3 年 3 月 1 9 日～令和 8 年 3 月 2 0 日

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う審査特例措置により認定期間を延長
令和6年3月に受審した確認審査により条件付きが解除となった。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

評価の結果（認定等）については、病院のHP及び院内に掲示で公表している。

・評価を踏まえ講じた措置

確認審査受審に向けC評価となっていた3項目について、各担当部署にてそれぞれ対応を講じ条件付き解除となった。

1.4.2 医療関連感染制御に向けた情報と検討を行っている：VAEサーベイランス対象を一般病棟に拡大

1.5.2 診療の質の向上に向けた活動に取り組んでいる：病院機能評価可視化プロジェクトに参加等

3.1.7 医療機器管理機能を適切に発揮している：機器の全数把握とシリンジ、輸液ポンプの使用後点検を実施

次年度予定されている改善審査に向け、引き続き上記改善活動を実施している。

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

・ 基準の主な内容

- (1) 学内外を問わず、日本国の医師免許を有する者
- (2) 附属病院の理念及び基本方針に基づいた病院運営を行う能力を有する者
- (3) 医療安全管理業務の経験、患者の安全を第一に考える姿勢及び指導力等を有する者
- (4) 病院での組織管理経験及び高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質及び能力を有する者

・ 基準に係る内部規程の公表の有無（☒有・無）

・ 公表の方法

法人のホームページで公表

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無

有・☒無

- ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（有・無）
- ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（有・無）
- ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の 関係
藤井 和男	公立大学法人本部	未選任 今後選任予定	選考等に関する規程第2条第3項第1号	☒ 有・無
夜久 均	京都府立医科大学		選考等に関する規程第2条第3項第2号	☒ 有・無
橋本 直哉	同 脳神経外科学		選考等に関する規程第2条第3項第3号	☒ 有・無
佐和 貞治	同 附属病院		選考等に関する規程第2条第3項第4号	☒ 有・無
井上 匡美	同 附属病院 医療安全推進部		選考等に関する規程第2条第3項第5号	☒ 有・無
藤本 早和子	同 附属病院看護部		選考等に関する規程第2条第3項第6号	☒ 有・無
松本 浩成	同 附属病院事務部		選考等に関する規程第2条第3項第6号	☒ 有・無
岡村 吉隆	誠佑記念病院		選考等に関する規程第2条第3項第7号	有・ ☒ 無
松田 晋哉	産業医科大学		選考等に関する規程第2条第3項第7号	有・ ☒ 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		有・無	
・合議体の主要な審議内容 (1) 京都府立医科大学附属病院の運営方針に関すること。 (2) 附属病院の中期計画・年度計画に関すること。 (3) 附属病院の予算・決算に関すること。 (4) その他附属病院の運営に関する重要な事項に関すること。 ・審議の概要の従業者への周知状況 会議での審議の概要については、臨床部長会等で周知を行う。 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・無） ・公表の方法 ・外部有識者からの意見聴取の有無（有・無）			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
佐和 貞治	○	医師	病院長
高山 浩一		医師	副病院長
井上 匡美		医師	副病院長
福井 道明		医師	副病院長
藤本 早和子		看護師	副病院長、看護部長
中村 猛		医師	医療安全推進部長
小阪 直史		薬剤師	薬剤部長
中田 克哉		放射線技師	医療技術部長
松本 浩成		事務	事務局副局長（事務部長）
山口 健司		事務	病院管理課長
辻田 比佐子		事務	医療サービス課長
磯 直樹		事務	総務課長
木森 優		事務	経理課長
大西 勝		事務	企画広報課長
岡下 武生		事務	情報・研究支援課長
飯島 弘文		事務	経理課参事
奥田 敏博		事務	経営改善担当部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ☒ ・ 無 ）
- ・ 公表の方法
学内ホームページに掲載（他の大学規程と同様の扱い）
- ・ 規程の主な内容
京都府立医科大学附属病院規程
第5条第3項 病院長は、本院の管理運営を統括するとともに次の事項を専行するものとする。（以下略）

京都府立医科大学附属病院規程
第6条第3項 教授の職にある副病院長は、病院長又は病院長予定者が診療部長の職にある者の中から指名するものとする。
※京都府立医科大学附属病院規程において、病院内の各役職ごとに、病院長が指名する旨を同様に規定

京都府立医科大学附属病院管理運営会議規程
第2条（所掌事項）第3号 附属病院の予算・決算に関すること。
第4条（会議）病院長は、会議を招集し、その議長となる。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

管理者をサポートする体制として、以下の会議を規程により設置
 - ・ 病院管理運営会議（病院の運営方針等を決定する合議体。病院長、副病院長等で構成）
 - ・ 病院経営改善推進会議
（病院の経営改善の方針、運営を審議。病院長、副病院長等で構成）
 - ・ 臨床部長会（病院の運営、診療を審議。診療部長等で構成）
他に、個別の課題に対応するため、医療材料検討委員会など、病院長、担当副病院長が出席する委員会を設置している。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
 - ・ 病院長の指名により副病院長、薬剤部長、医療技術部長等の管理職員を配置している。
また、中央部門の長等及び各種委員会の委員についても病院長が指名している。
 - ・ 病院長、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者について、日本医療機能評価機構による「特定機能病院管理者研修」を受講
 - ・ 外部講師による「病院経営改善セミナー」に病院長及び管理職員が参加

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況				☒ ・無	
・ 監査委員会の開催状況：年 2 回 ・ 活動の主な内容： ・ 病院の医療安全推進部、医療に関する安全対策委員会、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者等の業務の状況について、病院長から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を行う。 ・ 必要に応じ、医療に係る安全管理については是正措置を講ずるよう意見を表明する。 ・ 監査の結果について速やかに公表する。 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ ☒・無 ） ・ 委員名簿の公表の有無（ ☒・無 ） ・ 委員の選定理由の公表の有無（ ☒・無 ） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ ☒・無 ） ・ 公表の方法：京都府公立大学法人のホームページに掲載					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
松村 由美	京都大学医学部 附属病院	○	特定機能病院の医療 安全管理体制に精通 している。	有・ ☒ 無	1
平野 哲郎	立命館大学法科 大学院法務研究 科		法律研究者として関 係の法律に精通して いる。	有・ ☒ 無	1
清水 智治	滋賀医科大学医 学部附属病院		医療安全管理に関す る専門的知識を有し ている。	有・ ☒ 無	1
秋篠 憲一			本院の患者として医 療を受ける者の代表	有・ ☒ 無	2
				有・無	
				有・無	

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・ 体制の整備状況及び活動内容
京都府公立大学法人会計規則
京都府公立大学法人内部監査要綱
京都府公立大学法人コンプライアンス推進規程
京都府公立大学法人コンプライアンス委員会設置要綱

京都府公立大学法人会計規則及び京都府公立大学法人内部監査要綱により、法人内の業務運営が法令等に基づいて適切に執行されているか、内部監査員による監査を行っているところ。

併せて、公立大学法人総務・経営担当理事を委員長とし、法人所管の 2 大学の学長、法人の教職員の身分を有していない理事のほか、コンプライアンスに関する有識者で構成するコンプライアンス委員会において、コンプライアンスの推進に係る制度の実施状況の把握、点検、評価等を行うとともに、通報事案の解決策の明示、再発防止策の策定を行っている。

- ・ 専門部署の設置の有無 (☒ ・ 無)
- ・ 内部規程の整備の有無 (☒ ・ 無)
- ・ 内部規程の公表の有無 (☒ ・ 無)

・ 公表の方法

内部監査計画及び内部監査結果並びにコンプライアンス推進規程及び内部通報制度に関する要綱を京都府公立大学法人のホームページに掲載

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 京都府公立大学法人理事会 - 病院長は理事として出席 規程に理事会の所掌として明記の上、病院の業務実績等について定期的に報告する等病院業務の監督を実施 ・ 会議体の実施状況（ 年11回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ☒有・無 ）（ 年11回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ ☒有・無 ） ・ 公表の方法 京都府公立大学法人のホームページに掲載			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

（注） 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 通報件数（年 9 件） ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 周知の方法 京都府公立大学法人及び京都府立医科大学附属病院ホームページに掲載 京都府立医科大学コンプライアンス指針に掲載（教職員研修等で周知）

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	☒ 有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 病院ホームページに本院の特定機能病院としての医療提供に係る特色、病院の理念・基本方針各種指定の状況等について掲載し、情報発信を行っている。 また、患者向け広報誌を発行（年 2 回）し、院内での取組等について、定期的に情報発信を行っている。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	☒ 有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 外来では、消化器センター、循環器センター、呼吸器センターなど 7 つのセンターで、複数診療科が連携して診療対応に当たっている。	